

平成28年5月24日

安曇野市教育委員会

平成28年5月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

議案第1号	教育部 学校教育課
平成28年5月24日提出	(課長)古幡 彰 (担当) 宮澤 慎二

タイトル	安曇野市学校給食センター運営委員の委嘱について
決定を要する事項の内容	安曇野市学校給食センター運営委員の選任に係る協議
要旨	<p>安曇野市学校給食センター条例に基づく、安曇野市学校給食センター運営委員会委員の任期満了に伴い、運営委員会規則第2条に定める選出委員の委嘱について、協議するものです。</p> <p>委員の選任案は別紙のとおりですが、教育委員からの選出(1人)については、本日の教育委員会において選出をお願いします。</p>
説明	<p>○安曇野市学校給食センター条例【抜粋】 (学校給食センター運営委員会)</p> <p>第4条 学校給食センターの運営を適正かつ円滑にするため、安曇野市学校給食センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。</p> <p>2 運営委員会は、教育委員会の諮問に応じ、学校給食に関する重要な事項を審議し、その意見を答申する。</p> <p>3 運営委員会は、10人以内の委員をもって組織する。</p> <p>4 運営委員会の委員は、教育委員会が委嘱又は任命する。</p> <p>5 第2条の給食センターごとに小委員会を設置することができる。</p> <p>6 第1項及び前項の委員会の規定は、別に定める。</p> <p>○安曇野市学校給食センター運営委員会規則【抜粋】 (趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、安曇野市学校給食センター条例(平成17年安曇野市条例第228号)第4条の規定に基づき、安曇野市学校給食センター運営委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(組織)</p> <p>第2条 安曇野市学校給食センター条例第4条第1項の規定による運営委員会の委員は、次に掲げる者をもって構成する。</p> <p>(1) 教育委員代表 1人 (2) 小学校長代表 1人 (3) 中学校長代表 1人 (4) 小学校及び中学校PTA代表 5人 (5) 学校医代表 1人 (6) 薬剤師代表 1人</p> <p>(委員の任期)</p> <p>第3条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任</p>

者の残任期間とする。

(役員)

第4条 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1人
- (2) 副委員長 1人
- (3) 監事 3人

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

4 監事は、給食費に関する会計を監査する。

(役員を選任方法及び任期)

第5条 役員を選任方法及び任期は、次のとおりとする。

- (1) 委員長及び副委員長は委員のうちから互選する。
- (2) 監事は、第2条第1項第2号及び第3号の委員のうちから1人、同項第4号の委員のうちから2人をもって充て、これらの委員により互選にする。

2 役員任期は1年とし、再任を妨げない。

(会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会教育部学校教育課において処理する。

平成28年度 安曇野市学校給食センター運営委員会委員案

	職 名	氏 名	選出区分	備考
1	委 員	横内 理恵子	教育委員	
2	委 員	勝家 慧昭	小学校長	堀金小学校長
3	委 員	古 幡 栄一	中学校長	明科中学校長
4	委 員	羽田野 賢二	P T A 連 合 会 (中部センター)	市PTA連合会 副会長
5	委 員	杏 賀奈子	P T A 連 合 会 (北部センター)	市PTA連合会 副会長
6	委 員	齊 藤 洋人	P T A 連 合 会 (中部センター)	豊科北小PTA副会長
7	委 員	二木 多賀子	P T A 連 合 会 (南部センター)	三郷小PTA副会長
8	委 員	三石 武宜	P T A 連 合 会 (堀金センター)	堀金小PTA副会長
9	委 員	須 澤 大知	医 師 会	医師会理事
10	委 員	横 林 和彦	薬 剤 師	薬剤師会長

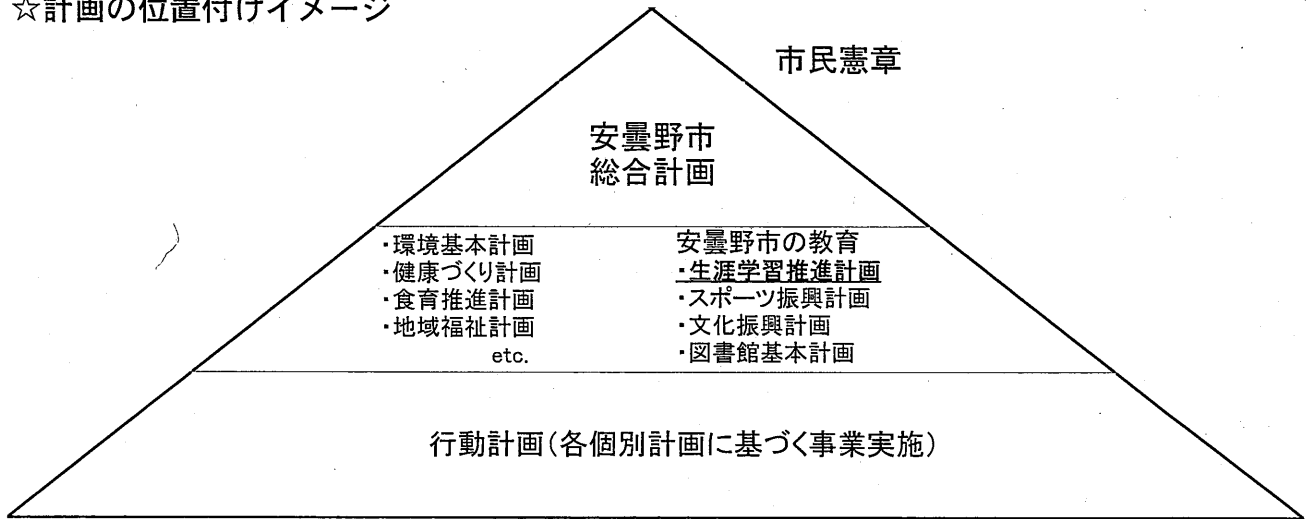
※ 委員の任期は、平成29年3月31日までとなります。

議案第2号	教育部 生涯学習課
平成28年5月24日提出	(課長) 蓮井 昭夫 (担当係長) 藤森 智

タイトル	第2次安曇野市生涯学習推進計画について
決定を要する事項の内容	計画の策定について
要旨	<p>平成21年8月に制定した「安曇野市生涯学習推進計画」の計画期間が平成29年度で終了します。</p> <p>同じく計画期間が終了となる総合計画は第2次計画を策定することが決定しました。</p> <p>これらに伴い、市民が人生の各段階で自発的意思に基づいて行う学習活動のあり方や学習活動への支援について、長期的な視野に立った指針が必要不可欠であることから、個別計画である「(仮称)第2次安曇野市生涯学習推進計画」を策定します。</p>
説明	<p>1 経過</p> <p>平成21年 生涯学習推進計画の制定 平成27年 " の改訂</p> <p>2 計画期間</p> <p>第2次総合計画の計画期間と合わせる 予定：平成30年度～平成39年度の10年間</p> <p>3 主な懸案事項(資料1)</p> <p>(1) 安曇野市人口ビジョン(平成27年10月発表)の目標人口を見据えた計画設定 (2) 総合計画基本計画の施策との整合 (3) 施策指標の設定</p> <p>4 策定に伴う体制</p> <p>(1) 庁内プロジェクト会議(平成28年度～) (2) 生涯学習計画策定委員会(平成29年度)</p> <p>5 スケジュールイメージ(資料2)</p>

安曇野生涯学習推進計画の状況

☆計画の位置付けイメージ



- 1 第1次総合計画 計画期間満了 平成29年度
- 2 第1次総合計画 計画期間に合わせた個別計画の計画期間満了
- 3 個別計画は、総合計画の策定状況を踏まえ内容を検討

○計画期間

第2次総合計画の計画期間と一致

予定：平成30年度～平成39年度

(前期：平成30年度～平成34年度、後期：平成35年度～平成39年度)

○懸案事項（計画策定において、特に留意すること）

- 1 安曇野市人口ビジョン（平成27年10月制定）の目標人口を見据えた計画設定
- 2 総合計画基本計画施策との整合
- 3 施策指標の設定
- 4 施策指標数値目標の設定の有無
- 5 社会ニーズの把握とギャップの是正・事業の取捨選択の徹底
- 6 年度ごとの評価方法の設定

○策定の体制及び協議先

- 1 生涯学習推進市民会議（平成28年度）
- 2 生涯学習計画策定委員会（平成29年度）
- 3 市内プロジェクト会議（平成28年度～）

構成予定：危機管理課、人権男女共同参画課、地域づくり課、環境課、福祉課、子ども支援課、健康推進課、文化課、図書館交流課、生涯学習課

- 4 社会教育委員の会
- 5 教育委員会
- 6 市議会（議会基本条例第10条第1項の情報提供）

資料2

第2次安曇野市生涯学習推進計画の策定（平成28～29年度）スケジュール（イメージ）

時期	庁内	委員会	市民参加会議	議会	備考
H28. 5	政策会議	教育委員会			
6					
7			市民会議		
8		教育委員会			
9	庁内PT会議				
10	┆				
11	┆	社会教育委員			
12	┆	教育委員会			
H29. 1	┆				
2	┆				策定委員 募集
3	┆		策定委員決定	経過報告	
4	▼ 策定委員会 参加		策定委員会		
5	┆	社会教育委員	┆		
6	┆		┆		
7	┆		┆		
8	┆		┆		
9	┆		┆		
10	▼	社会教育委員 教育委員会	▼		
11				第10条 (パブコメ)	パブリック コメント
12				経過報告	
H30. 1	政策会議	社会教育委員 教育委員会			
2				第10条 (制定)	
3	公表				

議案第3号	教育部 各課
平成28年5月24日提出	

タイトル	共催・後援依頼について								
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議								
要旨	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">学校教育課</td> <td style="width: 50%;">共催 1 件</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>後援 3 件</td> </tr> <tr> <td>文化課</td> <td>後援 3 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(詳細 別紙)</td> </tr> </table>	学校教育課	共催 1 件	生涯学習課	後援 3 件	文化課	後援 3 件	(詳細 別紙)	
学校教育課	共催 1 件								
生涯学習課	後援 3 件								
文化課	後援 3 件								
(詳細 別紙)									
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事（団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。）</p>									

教育部学校教育課 共催・後援台帳(平成28年5月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	年度	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課意見
3	H28.4.27	学校教育	28	平成28年度安曇野市福祉教育研修会	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会 松嶋 隆徳	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会	共催	市、教育委員会及び学校との連携を強め、福祉教育の質の向上をばか	4月21日	7月12日	安曇野市役所本庁4階	福祉教育のあり方について、市、教育委員会及び学校の先生方と共に考え、共有を図りたい。	原田正樹氏の講演を市内小・中・高等学校の職員、地域コーディネーター等を対象に開催し、子どもたちの生きる力を育むために、学校と地域、社協が連携して進める福祉教育のあり方を学ぶ。	—	—	—	基準第3条第2項により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成28年度5月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課意見
1007	H28.4.27	スポーツ推進担当	公益社団法人日本3日体験協会創立45周年記念全国大会 野県大会	公益社団法人日本3日体験協会 長野県支部 支部長 宮澤 正子	公益社団法人日本3日体験協会	後援	安曇野市民の方々に3日体験を知って頂きたい。	4月27日	平成28年8月27日(土) 13:00~15:00	三郷文化公園 体育館	少子・超高齢社会が進む現在、世代を超えての生涯スポーツが重視される中、私ども協会は創立45周年を記念し皆さまに3日体験を通して誰にでもできる運動の機会と、体を動かす心地よさや楽しさを体験していただくとともに、日本全国の会員が地区や支部に集い、日々の練習の成果の発表や交流を行う。合わせてベビークラスから高齢の方々まで広く国民から高齢の方々まで健康づくりを提供し、心と体の健康づくりと健康寿命の延伸につながる生涯スポーツの振興に寄与することを目的に開催する。	大会スローガン「時を繋いで45年 熱き想いを輝く未来へ!!!」 内容:一般市民と会員との交流、会員の発表会 参加対象:ベビークラスから幼児、児童、成人、高齢者、障がいのある方(約300名程度) 参加料:一般参加者無料、登録会員1,000円、指導者3,000円	-	-	-	基準第3条第2項により可
1008	H28.4.26	スポーツ推進担当	2016全日本ジュニアRF武道選手権大会	特定非営利活動法人日本武道連合格闘技連盟 理事長 小沢 隆	特定非営利活動法人日本武道連合格闘技連盟	後援	青少年の育成に寄与するため。	4月26日	平成28年9月25日(日)	長野市真島総合スポーツアリーナ	全国規模の試合を通じて青少年健全育成に寄与する。	参加人数:選手約500名、保護者、大会役員、関係者を含め総数約1,500名 参加料:1人2,880円	-	-	-	基準第3条第2項により可
1009	H28.4.22	スポーツ推進担当	バレーボール祭りin安曇野[ジェイテックス]バレーボール教室	実行委員長 金子 増生 実行委員会	安曇野バレーボール実業交流会 実行委員会	後援	バレーボール技術の向上を目指し、より多くの子ども達に参加して頂きたい。	4月22日	平成28年7月30日(土)・31日(日)	三郷文化公園 体育館、三郷小学校体育館、三郷体育館、種高総合体育館、堀金小学校体育館、堀金中学校体育館、豊科高校体育館	Vプレミアリーグに所属する国内トップ選手による教室を開催することにより、安曇野市及び近隣市町村の小学生・中学生・高校生・一般のバレーボール愛好者及び指導者に、競技力の向上と幅広い世代での普及を図ることを目的に開催する。	Vプレミアリーグで活躍する[ジェイテックス]バレーボール教室 参加料:各教室(3時間)1人500円	-	-	-	基準第3条第2項により可

教育部文化課 共催・後援台帳（平成28年度5月定例会協議事項）

№	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課意見
10	H28.4.18	文化	和楽器のオーケストラ むつものコンサート	(一財)長野県 文化振興財団 キッセイ文化 ホール(長野 県松本文化 館)	館長 出川 久雄	(一財)長野県文化振興 財団 キッセイ文化ホー ル(長野県松本文化 館)	後援 を行いたいため。	4月15日	平成29年 1月14日(土)	キッセイ文化ホール (松本文化会館)大 ホール	普段触れる機会が少ない尺八、 箏、三味線、十七絃・篠笛・胡弓 など、「日本の音を未来に伝え たい」という志を一つにするプロ の演奏家による日本の伝統ある 音色を幅広い層に届けてもら い、和楽器に親しみを持ってもら いたい。	和楽器体験、和楽器リトミック、 総本の読み聞かせ、コンサー ト、煎茶コーナーなど。 全席自由 一般:1,000円、高校 生以下・未就学児:無料 共催申請先:長野県、長野県教 育委員会 他後援申請先名:松本市、松 本市教育委員会、安曇野市、塩 尻市、塩尻市教育委員会、信濃 ウーン情報、(公財)八十二文化 財団	-	-	-	基準第3条第2項 により可
16	H28.5.6	文化	豊科地区伝統文化い けはな親子教室	豊科地区伝 統文化いけ はな親子 教室	代表 丸山 豊喜	豊科地区伝統文化いけ はな親子教室	小中学生の子どもを 対象とする事業のた め、幅広く紹介して いききたいため。	4月24日	平成28年 6月18日(土)～ 1月14日(土)の 13回	豊科公民館	次世代を担う子どもや親を対象 に、いけはなを通じて伝統文化 を体験・習得させるとともに、歴 史や伝統文化に関心・理解を深 め、子ども達の豊かな人間性を 涵養することを目的とする。	対象者:小中学生と保護者 内容:実技、いけはなの歴史、 かざり方 講師:いけはな小原流教授者が 複数名で指導します。 費用:花代として1人一回650 円、12回分を前納	-	-	-	基準第3条第2項 により可
17	H28.5.10	文化	祝!「山の日」施行 信州安曇野「北アルプ ス」ハノラマ銀座・山岳 フェスタ2016	安曇野市山岳 観光推進実行 委員会	実行委員長 赤沼 健至	安曇野市山岳観光推進 実行委員会	広く周知し、多くの方 に参加していただく ため。	5月10日	平成28年 7月9日(土)・10 日(日)、 8月5日(金) ～11日(木・祝)	安曇野スイス村サン モリツツ 穂高交流学習セン ター「みらい」	本年の「山の日」祝日施行を記 念し、北アルプス・ハノラマ銀座 の魅力を多くの方に知っていら だくため。	【第1部】 山岳関係者によるトークショー アフトアーンヨック、メーカーによ る展示販売 山岳関連映画上映、山岳写真 展示など 【第2部】 「山岳フィルムムウィーク」	-	-	-	基準第3条第2項 により可

平成 28 年 5 月 24 日開催

安曇野市教育委員会 5 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

議案第 3 号の 2	教育部 各課
平成 28 年 5 月 24 日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	生涯学習課 共催 1 件、後援 3 件 文化課 後援 2 件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第 2 条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第 3 条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第 4 条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第 1 項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事（団体又は行事が、前条第 2 項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。）</p>	

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成28年度5月定例会協議事項)当日提出分

報告月	No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H25	H26	H27	所管課意見
5	1010	H28.5.16	社会教育担当	「あつみの国際DAY」～安曇野で世界を体験！見る・知る・学ぶ・食べ・遊ぶ！	あつみの国際化ネットワーク(AIN) 丸山 美枝	あつみの国際化ネットワーク(AIN)	後援	市民が参加しやすい、効果的に市民へ安曇野市で行われる国際活動(多文化共生)に関する情報を紹介できるため	5月10日	平成28年10月16日(日)	穂高公民館	市内に居住する外国人住民の暮らしをサポートし、会費相互の扶助並びに短利の増進をはかり、地域国際活動を通じてタイハイランド(多様性を活かした多文化共生を推進し、世界に開かれた安曇野市のイメージの創造に貢献すること。	各国文化紹介、民族ステージ、展示、情報提供 など	-	-	-	基準第3条第2項により可
5	1011	H28.5.12	スポーツ推進担当	親子でふれあい、クリスマス・サークル！	いのちのわ 中野 あや	いのちのわ	後援	より多くの方に知っていただきたい、児童館等にもチラシを配布したい。	5月8日	平成28年6月29日(土)	穂高総合体育館フットネスルーム	リラックス、リフレッシュし、心身の充実を図る。身体能力の向上。親子、他者と、グループのコミュニケーション。	小学生親子を主な対象とし、様々な音楽や動き、ゲームをまじえ、た、グループ・ワーク・セッションを行う。 主な対象:小学生の子どもと保護者(定員15組) 参加料:一家庭500円	-	-	-	基準第3条第2項により可
5	1012	H28.5.16	社会教育担当	三好基晴先生講演会「医療病と健康病」(仮)	食の寺子屋 栗林 明子	食の寺子屋	後援	子育て中の母親たちにも聞いてほしいため、託児料なしで受け入れた。	5月16日	平成28年6月19日(日)	碓山公園 研成ホール	医師でもあり、食と健康のプロフェッショナルでもある三好先生をお招きし、市民の病気の予防や健康維持に役立てます。	安曇野市民に、より健康で豊かな生活をしようための勉強会。 日々の生活に少しでも取り入れ、病気の予防や健康維持に役立ててほしい。 H27「箱膳から学ぶもの」池田玲子先生 H26「食を正せば命が輝く」大塚真先生 過去後援あり	-	-	-	基準第3条第2項により可
5	1013	H28.5.16	スポーツ推進担当	第11回安曇野市民豊科ゴルフ大会	安曇野市体育協会 赤羽 高明	安曇野市体育協会	共催	社会体育の振興と大会の充実、権威を向上させるため。	5月16日	平成28年8月23日(火)	豊科カントリー倶楽部	地域市民の健康保持と体力向上を自覚するとともに、地域市民相互の親睦、交流及び運常意識の高揚並びに社会体育の振興をも図ることを目的として開催する。	競技方法:18ホールストロークプレー新ペリア方式 参加費:2,000円、プレー代:メンバー8,640円、ゲスト10,800円 募集定員:60組(240名)	-	-	-	基準第3条第2項により可

教育部文化課 共催・後援台帳(平成28年度5月定例会協議事項)当日提出分

報告月	No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課意見
19		H28.5.12	文化	日本クラウン吟友会信州地区吟剣詩舞道大会	日本クラウン吟友会信州地区	飯森 寿岳	後援	市の後援により大会が大きくなっていきます。会場取りにも色々とお世話になります。	5月11日	平成28年11月13日(日)	安曇野市明科公民館	目標に向かって楽しく大きな声を出し、腕筋を鍛え吟・剣・詩舞を習い生涯学習としております。50、60代～90代まで高齢者皆さんも健康で学習しております。	吟詠、詩舞、剣舞のコンクール。 入場料無料 参加料:1000円 他の後援申請先:市民タイムス、日本クラウン吟友会	-	-	-	基準第3条第2項により可
20		H28.5.18	文化	浦野実成&内多瑞子デュオ・リサイタル	浦野実成&内多瑞子デュオ・リサイタル実行委員会	黒河内 健	後援	本公演を地元の皆様により大きな理解とご賛同をいただければ幸いです。	5月18日	平成28年9月11日(日)	あづみ野コンサートホール	ドイツ・ミュンヘンですでに長年第一線で活躍の音楽家お二人によるドイツ古典音楽である有名な歌曲「冬の旅」の演奏を地元の方々に楽しんでいただきたい。	曲目:シューベルト作曲 歌曲集「冬の旅」全曲 出演者:浦野実成(バス) 内多瑞子(ピアノ) 入場料:3500円(ホール会員3000円) 高校生以下2000円	-	-	-	基準第3条第2項により可

報告第1号	教育部 学校教育課
平成28年5月24日提出	(課長)古幡 彰 (担当)藤澤 一渡

タイトル	スクールサポート事業実行委員会委員及び地域教育協議会の委嘱について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	<p>安曇野市スクールサポート事業実施要綱第4条及び第5条の規定により、下記の者を「スクールサポート事業実行委員」、「地域教育協議会委員」に委嘱したので報告します。</p> <p>○安曇野市スクールサポート事業実施要綱【抜粋】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要綱は、市内の小学校及び中学校（以下「学校」という。）と地域との連携体制の構築により地域全体で学校教育を支援する事業を推進するため安曇野市スクールサポート本部（以下「本部」という。）を設置し、その組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(任務)</p> <p>第2条 本部は、次に掲げる事項を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習支援活動に関すること。 (2) 総合的な学習、読書活動に関すること。 (3) 児童及び生徒の登下校の安全確保に関すること。 (4) 学校内の環境整備に関すること。 (5) 学校における課外活動及び部活動の支援に関すること。 (6) 不登校児童生徒、障害児、外国人児童生徒等の支援に関すること。 (7) 事業の評価、学校への普及啓発に関すること。 (8) 前各号に掲げるもののほか、学校の支援に関すること。 <p>(組織)</p> <p>第3条 本部は、次に掲げるものをもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) スクールサポート実行委員会 (2) 地域教育協議会 (3) 中学校部活動運営委員会 (4) 地域コーディネーター (5) 学校支援ボランティア

	<p>(スクールサポート実行委員会)</p> <p>第4条 スクールサポート実行委員会は、次に掲げる事項を行う。</p> <p>(1) 学校教育を地域で支援する体制づくりの企画及び推進に関すること。</p> <p>(2) 学校の課題及び支援に関する事項の協議に関すること。</p> <p>(3) 地域コーディネーターの養成及び配置に関すること。</p> <p>(4) 学校支援ボランティアの養成に関すること。</p> <p>2 スクールサポート実行委員会は、委員20人以内とし、次に掲げる者のうちから安曇野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。</p> <p>(1) 学校関係者</p> <p>(2) 各地域代表者</p> <p>(3) PTA代表者</p> <p>(4) 教育委員会教育部職員</p> <p>(5) その他教育委員会が必要と認めた者</p> <p>(地域教育協議会)</p> <p>第5条 地域教育協議会は、次に掲げる事項を行う。</p> <p>(1) 学校の教育活動その他学校運営全般についての評価に関すること。</p> <p>(2) 学校支援ボランティア事業の確認に関すること。</p> <p>(3) 学校安全に関すること。</p> <p>2 地域教育協議会は、地域ごとに委員15人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。</p> <p>(1) 学校関係者</p> <p>(2) 区長代表者</p> <p>(3) 地域コーディネーター</p> <p>(4) PTA代表者</p> <p>(5) その他教育委員会が必要と認めた者</p> <p>(任期)</p> <p>第8条 第4条から前条までに規定する委員又は地域コーディネーターの任期は、委嘱の日から当該日の属する年度の末日までとし、再任を妨げない。</p>
<p>説明</p>	<p>○委嘱者 、別紙のとおり</p>

平成28年度 安曇野市スクールサポート事業実行委員会委員名簿

No.	氏名	所属・役職等	備考
1	遠藤 正志	豊科北小学校校長	小学校長（校長会推薦）
2	井口 真	三郷中学校校長	中学校長（校長会推薦）
3	筒井 年恵	豊科南小学校校長	小学校長（校長会推薦）
4	平沢 重人	穂高東中学校校長	中学校長（校長会推薦）
5	三原 壽雄	豊科地域	学識経験者（主任児童委員）
6	浅川 恭克	穂高地域	地域コーディネーター
7	丸田 功子	三郷地域	地域コーディネーター
8	片桐 厚子	堀金地域	主任児童委員
9	丸山 篤子	明科地域	主任児童委員
10	比田井 修	市PTA連合会参与	市PTA連合会推薦
11	鶴田 富男	学習支援員	学識経験者（学習支援関係）
12	丸山 幸安	豊科南小・豊科南中学校サポート隊	学識経験者（子ども安全関係）
13	飯田 俊穂	NPO法人長野県子どもサポートセンター長	学識経験者（不登校等関係）
14	八木 清恵	家庭教育支援員	家庭教育関係
15	三好 さき子	前地域コーディネーター	学識経験者（こども支援団体）
16	橋渡 勝也	教育長	

平成28年度地域教育協議会委員名簿

地域教育協議会名		氏名	所属・役職名等	備考
豊科（豊科南中学区）		筒井 年恵	豊科南小学校校長	
豊科（豊科南中学区）	新	清澤 栄三	豊科南中学校校長	
豊科（豊科南中学区）	新	久保田 頼忠	たつみ原区長	豊科地域区長会推薦
豊科（豊科南中学区）		川口 邦博	豊科南小学校コーディネーター	主任児童委員
豊科（豊科南中学区）		時田 岩江	豊科南中学校コーディネーター	
豊科（豊科南中学区）	新	土屋 郷美	豊科南中学校PTA副会長	PTA推薦（中学校）
豊科（豊科南中学区）	新	神保 忠晃	豊科南小学校PTA会長	PTA推薦（小学校）
豊科（豊科南中学区）		内川 丈夫男	豊科公民館長	豊科公民館推薦
豊科（豊科北中学区）		遠藤 正志	豊科北小学校校長	
豊科（豊科北中学区）	新	細萱 稔	豊科東小学校校長	
豊科（豊科北中学区）		佐藤 厚彦	豊科北中学校校長	
豊科（豊科北中学区）	新	花村 捷夫	徳次郎区長	豊科地域区長会推薦（豊科北小学校区）
豊科（豊科北中学区）	新	坂口 裕一	桜坂区長	豊科地域区長会推薦（豊科東小学校区）
豊科（豊科北中学区）		丸山 紀子	豊科北小学校コーディネーター	
豊科（豊科北中学区）		内川 淳	豊科東小学校コーディネーター	
豊科（豊科北中学区）		赤堀 健一	豊科北中学校コーディネーター	主任児童員
豊科（豊科北中学区）	新	渡辺 正行	豊科北中学校PTA副会長	PTA推薦（中学校）
豊科（豊科北中学区）	新	黒木 加寿子	豊科北小学校PTA副会長	PTA推薦（小学校）
豊科（豊科北中学区）	新	荒波 隆広	豊科東小学校PTA会長	PTA推薦（小学校）
豊科（豊科北中学区）	新	降幡 潔	豊科公民館社会教育指導員	豊科公民館推薦
穂高（穂高東中学区）		丸山 福一	穂高南小学校校長	
穂高（穂高東中学区）	新	小林 栄子	穂高西小学校校長	
穂高（穂高東中学区）	新	平沢 重人	穂高東中学校校長	
穂高（穂高東中学区）	新	西澤 正博	矢原区長	穂高地域区長会推薦（穂高南小学校区）
穂高（穂高東中学区）	新	熊井 深男	柏原区長	穂高地域区長会推薦（穂高西小学校区）
穂高（穂高東中学区）		平林 佳樹	穂高南小学校コーディネーター	
穂高（穂高東中学区）		望月 文規	穂高西小学校コーディネーター	主任児童委員
穂高（穂高東中学区）		浅川 恭克	穂高東中学校コーディネーター	
穂高（穂高東中学区）	新	石川 健司	穂高東中学校PTA副会長	PTA推薦（中学校）
穂高（穂高東中学区）	新	浅川 直美	穂高南小学校PTA副会長	PTA推薦（小学校）
穂高（穂高東中学区）	新	西澤 秀幸	穂高西小学校PTA会長	PTA推薦（小学校）
穂高（穂高東中学区）		武重 孔二	穂高区ボランティア会会長	学校長推薦（穂高東中学校）
穂高（穂高東中学区）	新	三澤 正彦	穂高公民館社会教育指導員	穂高公民館推薦
穂高（穂高西中学区）		中村 真市	穂高北小学校校長	
穂高（穂高西中学区）	新	窪田 博之	穂高西中学校校長	
穂高（穂高西中学区）	新	内山 聖参	青花見区長	穂高地域区長会推薦（穂高北小学校区）
穂高（穂高西中学区）		内山 房子	穂高北小学校コーディネーター	
穂高（穂高西中学区）		赤沼 美奈子	穂高西中学校コーディネーター	
穂高（穂高西中学区）	新	宮澤 亨	穂高北小学校PTA会長	PTA推薦（小学校）
穂高（穂高西中学区）	新	澤木 涼子	穂高西中学校PTA副会長	PTA推薦（中学校）
穂高（穂高西中学区）		中田 光男	穂高公民館長	穂高公民館推薦

平成28年度地域教育協議会委員名簿

地域教育協議会名		氏名	所属・役職名等	備考
三郷		望月 弘	三郷小学校長	
三郷		井口 真	三郷中学校長	
三郷	新	二木 眞一	二木区代表区長	三郷区長会推薦
三郷		峯岸 芳夫	三郷小学校コーディネーター	
三郷		丸田 功子	三郷中学校コーディネーター	
三郷	新	杉本 有加	三郷小学校PTA副会長	PTA推薦 (小学校)
三郷	新	小林 俊夫	三郷中学校PTA会長	PTA推薦 (中学校)
三郷		三澤 晴男	元三郷小学校長	学校長推薦 (三郷小学校)
三郷		曾根原 孝和	元教育委員長	学校長推薦 (三郷中学校)
三郷	転	山岸 彰	三郷公民館社会教育指導員	三郷公民館推薦
堀金		勝家 昌昭	堀金小学校長	
堀金		大島 春彦	堀金中学校長	
堀金	新	白井 長男	区長	堀金地域区長会推薦
堀金		北林 則子	堀金小学校コーディネーター	
堀金	新	内田 浩志	堀金中学校コーディネーター	
堀金	新	長谷川 渚	堀金小学校PTA副会長	PTA推薦 (小学校)
堀金	新	青柳 公久	堀金中学校PTA会長	PTA推薦 (中学校)
堀金		黒岩 英則	元旧堀金村助役	学校長推薦 (堀金中学校)
堀金		板花 正廣	民生児童委員推薦委員会委員長	学校長推薦 (堀金中学校)
堀金		宮下 光夫	堀金公民館社会教育指導員	堀金公民館推薦
明科		伊藤 和子	明南小学校長	
明科		青木 泰治	明北小学校長	
明科	新	古幡 栄一	明科中学校長	
明科	新	石田 壽成	町区長	明科地域区長会推薦 (明南小学校区)
明科	新	矢澤 久男	木戸区長	明科地域区長会推薦 (明北小学校区)
明科		勝家 満	明南小学校コーディネーター	
明科	新	小林 章男	明北小学校コーディネーター	
明科		遠藤 宏一	明科中学校コーディネーター	
明科	新	沖 智志	明北小学校PTA会長	PTA推薦 (小学校)
明科	新	矢花 久美	明南小学校PTA副会長	PTA推薦 (小学校)
明科	新	堀内 雅文	明科中学校PTA副会長	PTA推薦 (中学校)
明科		松嶋 隆徳	民生児童協議会会長	学校長推薦 (明北小学校)
明科		鈴木 桂子	明科公民館社会教育指導員	明科公民館推薦

報告第2号	教育部 学校教育課
平成28年5月24日提出	(課長)古幡 彰 (担当)藤澤 一渡

タイトル	中学校英語課外授業派遣業務委託プロポーザル審査委員の委嘱について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	安曇野市中学校英語課外授業派遣業務委託選定審査会設置要領の規定により、別添の者を「審査会委員」に委嘱したので報告します。(別添：設置要領・審査会委員)
説明	<p>平成25年度より実施している「中学校英語課外授業」について、同一業者により3年間の事業実施がされており、今後の事業がより中学生の英会話能力の向上に繋がるよう、業者提案方式による事業実施業者を選定するためプロポーザルを実施します。</p> <p>その選定に係る審査会委員を別添の者に委嘱しました。</p> <p>任期：平成28年5月10日から平成28年6月30日まで</p>

安曇野市中学校英語課外授業派遣業務委託選定審査会設置要領

1、設置

安曇野市が行う、中学校英語課外授業の業務について、その委託業者を適正に決定するため、安曇野市中学校英語課外授業業務委託選定審査会（以下「審査会」という。）を設置する。

2、所掌事務

審査会は、中学校英語課外授業の業務委託にかかる企画提案（プレゼンテーション）について総合的に審査を行い、優秀な提案を選定するものとする。

3、構成

審査会は、次の者をもって組織する。

- (1) 教育部長
- (2) 教育指導室長
- (3) 校長会代表
- (4) 中学校英語科担当教諭

4、組織

- (1) 審査会に委員長及び副委員長を置く。
- (2) 委員長は、教育部長をもって充てる。
- (3) 副委員長は、教育指導室長をもって充てる。

5、委員長及び副委員長の職務

- (1) 委員長は、審査会を主宰し、会議の議長となる。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

6、会議

- (1) 審査会の会議は、必要に応じて委員長が召集する。
- (2) 審査会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- (3) 審査会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は委員長の決するところによる。

7、関係者の出席

委員長は、必要があると認めるときは、審査会の会議に関係者を求め、意見等の聴取をすることができる。

8、庶務

審査会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

9、委任

この要領に定めるもののほか審査会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

報告事項第3号	教育部 各課
平成28年5月24日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	生涯学習課 5件 文化課 8件 (詳細別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】</p> <p>(定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成28年度5月定例会専決事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課意見
8	H28.4.21	スポーツ推進担当	第33回安曇野少年野球大会	豊科野球クラブ(スボ少豊科歌式野球中学)	会長 誠一 木村 事務局長 木村 行男	豊科野球クラブ	後援	市内6チームを含む27チームが参加し、教育及びスポーツ普及向上に寄与するものであり、後援を申請します。	4月19日(火) 予備日:5月5日(木)	平成28年5月3日(火)~4日(水)	過去承認	○	4月26日	豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校 豊科中学校	県内外の27の中学生チームによる予選リーグ及び決勝トーナメント、参加人数は約6500人 参加料:1チーム△5,000円	○	○	○	基準第4条第2号により可	
9	H28.4.12	スポーツ推進担当	第11回中信地区小学生陸上競技大会兼第33回長野県小学生陸上競技大会中信地区予選会	中信地区陸上競技協会	会長 下川 泰秀	中信地区陸上競技協会	後援	小学生陸上の普及、向上	平成28年5月22日(日)	過去承認	○	4月26日	松本平広域公園陸上競技場	小学生陸上の普及、向上、強化 長野県大会予選	競技種目:【男子・女子】5年・6年...1000m・1000m・800m・走高跳・走幅跳・ジャベリックボウ・鉛球・4×100mR【男女混合】4年・5年...男女混合4×100m R 参加料:1人700円 各種目上位15位まで県大会出場	○	○	○	基準第4条第2号により可	
10	H28.4.12	スポーツ推進担当	第23回堀金ソフトバレーボール大会	堀金ソフトバレーボールクラブ	会長 村瀬 篤	堀金ソフトバレーボールクラブ	後援	安曇野市体育施設において大会を企画することにより、安曇野市におけるスポーツの振興を図るため。	平成28年6月5日(日)	過去承認	○	4月26日	堀金総合体育館	安曇野市及び近隣市町村でソフトバレー方式(4チーム以下)の場合はリーグ戦とする。1セット15点のラリーポイント制で3セットマッチとする。 参加料:1チーム△2,000円	○	○	○	○	基準第4条第2号により可	
11	H28.4.26	スポーツ推進担当	平成28年度HOTAKA春季ソフトバレーボールフェスティバル	安曇野市ソフトバレーボール連盟 穂高ソフトバレーボールクラブ	黒岩 久芳	安曇野市体育協会	後援	地域におけるソフトバレーボールの普及に貢献すると共に、選手相互の技術向上を図る為。	平成28年5月29日(日)	過去承認	○	5月10日	穂高総合体育館	対象:高校生を除く、18歳以上の社会人(50チーム、300名程度参加予定) 競技方法:予選リーグ戦、決勝トーナメント 参加料:1チーム△4,000円	○	○	○	○	基準第4条第2号により可	
12	H28.4.26	スポーツ推進担当	平成28年長野県スポーツ少年団競技別交流大会(バドミントン競技)	公益財団法人長野県体育協会 長野県スポーツ少年団	本部長 柴 満壽夫	公益財団法人長野県体育協会 スポーツ少年団	後援	青少年の健全育成及びスポーツの振興普及のため。	平成28年10月2日(日)	過去承認	○	5月10日	三郷文化公園 三郷体育館 三郷体育館	団体に競技試合を主とした交流の機会を提供し、技術や運営意識の向上並びにスポーツ少年団活動の活性化を図ることを目的とする。	団体戦:男女を問わず1チーム6名以上で、原則2チーム以内とする。 個人戦:小学生1・2年生の部、小学生3・4年生の部、中学生男子の部、中学生女子の部 試合方法:団体戦はブロック分けをし、リーグ戦を行う。個人戦はトーナメント戦は、ともにダブルスとする。 参加料:団員1人につき300円	○	○	○	基準第4条第2号により可	

教育文化課 共催・後援台帳 (平成28年度5月定例会専決事項)

No	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課意見
7	H28.4.18	文化	講演会「方言で話そう。」	一般財団法人言語交流研究所 代表理事 榑原 陽	一般財団法人言語交流研究所 三ツツブツブツ ミーティング	後援	市内各所で広く告知するため	4月18日	平成28年 6月8日(水) ～11日(土)	○承認	過去承認	4月27日	なんなんひろば(松本市松南地区公民館) 11日:あがたの森文化会館	多言語活動の紹介 2)講演「方言で話そう。」 講師:言語交流研究所 研究員 ①大平道子 ②坂口清美 ③中居地区で活動するメンバーによる体験報告 参加費:無料 無料託児あり 他の後援先:長野県、長野県教育委員会	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	
8	H28.4.18	文化	三郷吟友会 第38回吟道大会	丸山 孝雄	三郷吟友会	後援	昭和53年の結成大会より後援を頂いております	4月18日	平成28年 7月23日(土)	○承認	過去承認	4月27日	安曇野市三郷公民館 2階201	吟詠大会。 節目の大会、10回、20回、30回大会には会長職経験者の表彰。後援には一理として会場確保もありません。	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	
9	H28.4.19	文化	第36回信濃現代水畫画会	大西 勝	信濃現代水畫画会	後援	安曇野市教育委員会様の二支援により所期の目的を達成いたしました。後援いたします。	4月18日	平成28年 5月27日(金)～29日(日)	○承認	過去承認	4月21日	松本市美術館 市民ギャラリーA	会員の作品を展示して展覧会を開催し、親代的思考と表現に靈の可能性を追求して精進を重ね、ひいては地域芸術文化の振興に寄与するものです。	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	
11	H28.4.25	文化	講演会	三郷郷土研究会 会長 赤羽根 嘉矩	三郷郷土研究会	後援	市民の生涯学習の一助になる内容であるので、後援をさせていただきます。	4月22日	平成28年 5月29日(日)	○承認	過去承認	4月28日	安曇野市三郷公民館 2階講義室	講師:安曇野市教育委員会教育文化課博物館係 逸見大悟先生 演題:「新次さん喜多さん 安曇野に遊ぶ」 参加者:三郷郷土研究会 地域住民など およそ55名 他の後援申請先:市民タイムス	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	
12	H28.4.27	文化	わくわくキッズコンサート	「ホッと」演藝ボランティア協会 松本モーターアートケストラ	「ホッと」演藝ボランティア協会 松本モーターアートケストラ	後援	公民館などにチラシを置き、広くコンサートの量伝をした。	4月26日	平成28年 7月6日(金)	○承認	過去承認	5月2日	松本市庄内地区公民館 大会議室	子連れでコンサートに行かれない方や、小さいお子さんがいる夜のコンサートに行かれない方の為に昼間にコンサートを行い、音楽に触れて欲しい。	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	
13	H28.5.6	文化	みさと伝統文化子どもいけばな教室	みさと伝統文化子どもいけばな教室 長瀬香央利	みさと伝統文化子どもいけばな教室	後援	小学生を中心に広く募集して多くの子供達に体験してもらおう。	4月27日	【予定】 平成28年 5月21日(土)、7月9日(土)、8月20日(土)、9月3日(土)、10月15・16日(土)、11月19日(土)、12月10日(土)、12月24日(土)、1月14日(土)	○承認	過去承認	5月11日	三郷公民館ほか	対象:小学生 受講料:900円(花代、播磨保険料含む) 持ち物:筆記用具、ぞうきん 講師:筆道家元池坊松本支部 降旗みつ子、川上文江	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	
14	H28.5.6	文化	穂高地区伝統文化子どもいけばな教室	野崎 純子	穂高地区伝統文化子どもいけばな教室	後援	小学生の子どもを対象とする事業のため、幅広く紹介していきたい。	4月24日	平成28年 6月から7月の内 13回	○承認	過去承認	5月11日	穂高会館	対象者:小学生と保護者 内容:栞、いけばなの歴史、かざり 講師:いけばな小原流教授者が複数名で指導します。 費用:花代として1人一回650円、12回分を前納	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	
15	H28.5.6	文化	第13回「いちよの会」吟音楽祭実行委員会	大会会長 小林 智聖	第13回「いちよの会」吟音楽祭実行委員会	後援	吟詠剣舞の芸術文化の発展に貢献したい。また、後援を頂けるとありがたいので、後援をさせていただきます。	5月6日	平成28年 6月19日(日)	○承認	過去承認	5月11日	安曇野市穂高交流学習センター「みらい」	①演目:吟詠、剣舞、詩舞等 ②出演対象者:吟詠、剣舞、詩舞等志す方、いちよの会吟音楽祭開催の趣旨に賛同して頂ける安曇野市民及び賛同者一般 ③出演予定者:70名 ④入場予定人数:200名	○	○	○	取扱基準第4条第2号により可	

報告事項第4号

平成28年度事業進捗状況報告（懸案事項等） <学校教育課>

学校教育課学校教育係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
<p>スクールサポート事業。</p>	<p>・各学校の運営理解を進めるため、実行委員会、各地域教育協議会の開催を例年より早めに開催します。</p> <p>実行委員会 5月27日(金) 午後6時から 安曇野市役所本庁舎3階 301会議室</p> <p>地域教育協議会 堀金地域教育協議会 5月30日(月) 午後6時30分から 堀金中学校</p> <p>豊科南中地域教育協議会 5月31日(火) 午後6時30分から 豊科南中学校</p> <p>豊科北中地域教育協議会 6月1日(水) 午後6時30分から 豊科北中学校</p> <p>穂高西中地域教育協議会 6月1日(水) 午後6時30分から 穂高西中学校</p> <p>穂高東中地域教育協議会 6月3日(金) 午後6時30分から 穂高東中学校</p> <p>明科地域教育協議会 6月7日(火) 午後6時30分から 明科中学校</p> <p>三郷地域教育協議会 6月9日(木) 午後6時30分から 三郷中学校</p>	<p>・名称を含め、スクールサポート事業実施要綱の改正を検討します。</p>

学校給食センターの状況

(平成 28 年 4 月 1 日 現在)

センター名	担当する学校	提供給食数	アレルギー対応食提供者数
北部学校給食センター	穂高南小学校、穂高北小学校、穂高西小学校 穂高東中学校、穂高西中学校	約 2,970 食	9 人
堀金学校給食センター	堀金小学校、堀金中学校	約 1,000 食	7 人
中部学校給食センター	豊科北小学校、豊科東小学校、豊科南中学校 豊科北中学校、明南小学校、明北小学校、 明科中学校	約 2,350 食	15 人
南部学校給食センター	三郷小学校、三郷中学校、豊科南小学校	約 2,400 食	13 人
計	小学校 10 校、中学校 7 校、	約 8,860 食	44 人

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進 ・学校訪問及び授業への参画 ・給食だより等の発行 ・給食センター視察・試食の受け入れ ・食育講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・4 センターで積極的に継続実施 ・第3次食育推進基本計画に基づく施策の研究
食の安全 (食材放射性物質検査)	<ul style="list-style-type: none"> ・市所有測定器による放射線量測定 →各センター1週間ごと実施する ・県依頼の放射線量測定 →各センター月1回実施（中信教育事務所） 	
給食費関係	<ul style="list-style-type: none"> ○口座振替収納 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度口座振替日程により実施中 ・納付回数 10 期/年（4 月期から 1 月期） ○滞納対策 <ul style="list-style-type: none"> ・再振替通知発送、再振替未納者へ督促通知発送 ・一斉催告書発送（学期ごと） ・学校と連携し、学期末の滞納対策強化期間に納付相談等の実施 ・児童手当からの納入実施 ・就学援助費からの納入実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く納付の意志を示さない未納者への裁判等による請求の取組。
学校給食センター 運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市学校給食センター条例第 4 条に基づき設置 委員数 10 人以内 学校給食費会計予算、決算の承認及び監査。 教育委員会の諮問に応じ、学校給食に関する重要な事項を審議し、その意見を答申する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の任期 2 年を 1 年に改正を行う。平成 28 年 4 月 1 から適用。

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等） <生涯学習課>

生涯学習課社会教育担当

社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
社会教育委員の会 予算額：413 千円	○委員の選任 3/22 教育委員会定例会 4/28 中信地区理事会	5/25 第 1 回会議 5/27 中信地区総会 7/4、2/17 中信地区理事会 6/15 県総会 9/28 県研究大会 10/13 中信地区秋の研修会 10/27. 28 関東甲信越静研究大会 11/上旬 第 2 回会議 3/下旬 第 3 回会議
第 2 次生涯学習推進計画策定 予算額：2, 213 千円	5/10 政策会議 5/15 部長会議 5/24 教育委員会定例会	別紙協議案件資料のとおり ～平成 30 年 3 月
安曇野市人権・平和特別授業 ～kizuki～ 予算額：3, 000 千円	○事業説明 4/8、4/20 校長会 4/21 小学校長会 5/24 学校学年主任との協議 事業の概要 対象：市内小学校 10 校 4 年生 期日：11 月 場所：豊科公民館ホール 内容：市歌斉唱、「私たちが思う平和」発表 ミュージカル「とべないホテル」鑑賞 終了後、感想文の執筆	11/14 又は 21 安曇野市人権・平和特別授業

生涯学習推進費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
安曇野検定 予算額：1, 414 千円	○実施方法の検討 概要 基本編・・・過去 5 年間の問題から出題 講座編・・・平成 28 年度準備講座から出題 ジュニア・・・過去 5 年間の問題から出題 ○講座内容の決定	6/15 「広報あづみの」による告知 7 月～11 月安曇野検定準備講座 10 回 9 月～11 月 ブラッシュアップ講座 1/29 平成 28 年度安曇野検定
市民大学講座 予算額：1, 047 千円		9/10 市民大学講座特別編 9 月～11 月市民大学講座信州大学編
日本語教室 予算額：395 千円	○豊科、穂高、堀金毎週日曜に、三郷は土曜日に開催 (明科休講中)	7 月～8 月 ボランティア講座 2 回
学校開放講座 予算額：300 千円	○社会教育法第 48 条による講座 4/7 開催依頼通知 5/12 回答期限 ○豊科高校、南安曇農業高校、明科高校、穂高商業高校、 穂高南小、豊科南中から開催希望あり	5 月～市内小中学校、高等学校で実施
美的カレッジ 予算額：40 千円	○市内在住又は在勤の 20 歳から 40 歳以下の女性対象の 講座 ・4/23 フラワーアレンジメント 14 人参加	5/29 テーブルマナー 8/6 写真 10/22 ヨガ 12/17 簡単おせち料理

人権教育推進事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
人権教育推進委員会・指導員会 予算額：1,308千円	○委員の委嘱報告 4/26 教育委員会定例会 5/9 小委員会 委嘱 会長・・・三原 壽雄さん（豊科） 副会長・・・請地 政広さん（明科） 竹内 芳文さん（部落解放同盟市協議会） 降旗 幸子さん（男女共同参画推進協議会） 5/17 合同会議 研修（講演） 講師 小諸市立郷土博物館館長 斎藤 洋一さん 演題「信州の被差別部落の歴史～松本藩領を中心に～」	2/21 小委員会 3/1 合同会議
地域人権教育協議会 予算額：712千円	4/20 第1回三郷地域人権教育推進協議会 4/20 第1回堀金地域人権教育推進協議会 4/21 第1回穂高地域人権教育推進協議会 4/26 第1回豊科地域人権教育推進会議及び研修会	5/26 明科人権教育推進委員及び指導員合同研修会 6/28 人権教育啓発講演会 「あかしな・ヒューマン講演会」
人権尊重作文集 予算額：326千円	○概要 市内小学校3～6年生、中学校1～3年、指定する学年ごと1作品を選出。ただし、4学年は全学校から計27作品。各種人権学習会などの概要版などとともに作文集を作成し、関係者へ配布。 5/18 市校長会	12月～1月 作品募集 3/月上旬 発行
安曇野市企業人権教育推進協議会 予算額：52千円	市内30企業加入	6/24 総会・研修会 10/25 企業人権啓発講演会 2/14 理事会

中央公民館事業費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
公民館運営審議会 予算額：158千円	○委員の選任 3/22 教育委員会定例会	5/25 第1回会議 11/下旬 第2回会議 3/下旬 第3回会議
公民館長会	○第1回 4/11 平成28年度役員の選出 会長：中田穂高公民館長 副会長：内川豊科公民館長、蓮井中央公民館長 ○第2回 5/9 公民館大会、運営方針	毎月1回開催
安曇野市公民館大会 予算額：170千円	○第10回安曇野市公民館大会 概要 5/15、豊科公民館ホール 功労者、地区公民館報表彰 事例発表：島新田地区公民館 講演会講師：長野市安茂里公民館長 宮下 健司 氏	
安曇野市総合芸術展 予算額：355千円		7月、11月、2月実行委員会 10月～11月作品選考 3月 総合芸術展
安曇野市公民館報 予算額：1,532千円	5/10 校正会議 5/18 企画会議	6/2 第33号発行 (6回発行)

青少年健全育成費事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
子ども会育成会支援 予算額：9,592千円	<ul style="list-style-type: none"> ○4月6日～15日 5地域子ども会育成会連絡協議会 ○4月19日 子ども会育成会連合会総会 ○5月8日 均等割補助金申請、子ども安全共済会申込み締切→99地区申請 ○5月11日 長野県子ども会育成会連絡協議会第1回理事会 ○5月19日 第2回常任委員会 ○5月27日 活性化補助金申請締切 ○5月28日 長野県子ども会育成会連絡協議会通常総会 	5月、10月、3月 常任委員会 6月、11月 ジュニアリーダー養成講座協力 2月中旬 子ども会育成会地域連絡協議会
青少年センター 予算額：1,021千円	<ul style="list-style-type: none"> ○4月28日 第1回運営委員会 ○5月13日 長野県青少年歩道センター連絡協議会 ○5月19日 安曇野市小中高等学校生徒指導連絡協議会第1回総委員会 	5月、6月、7月、11月、3月 運営委員会 8月、12月、3月 街頭巡回 10月 中信4市補導センター連絡会議
ジュニア・リーダー養成事業 予算額：71千円	<ul style="list-style-type: none"> ○4月6日 社会教育指導員会にて募集について説明 ○4月19日 募集チラシ配布 ○5月27日 申込み締切 	4月～5月 参加者の募集 6月11日 講習会(レクリエーション講座) 11月12日 講習会(三九郎組立講座)
まごころ工房 予算額：157千円	<ul style="list-style-type: none"> ○4月 募集チラシ配布 ○5月20日 申込み締切 応募者：31名 ○5月29日 第1講座【ようこそ！ワウパーク】開催 	年6回講座開催 5月29日 犬との触れ合い 6月18日 紙飛行機&ブーメラン 10月29日 落語に挑戦 11月19日 デイサービス交流会 12月3日 和風作り 3月4日 調理実習
こども体験ショー 予算額：540千円	<ul style="list-style-type: none"> ○5月 イベント内容検討 	4月～5月 イベント内容検討 8月下旬 出演者との打合せ 10月9日 環境フェアと同時開催
こども文化祭 予算額：344千円	<ul style="list-style-type: none"> ○5月 企画・運営方法検討開始 	5月～8月 企画・運営方法検討 9月～10月 出演・出品者の募集 11月26日 文化祭の開催 場所：みらい(予定)
安曇野こども映画教室 予算額：965千円	<ul style="list-style-type: none"> ○4月 小・中17学校、市内4高校 募集チラシ配布 ○4月25日～5月19日 参加者・ボランティア募集 応募者：20名(定員) ボランティア：3名 ○4月30日 河崎監督・麻和先生・事務局打合せ ○5月28日 第1回 オープンスクール開催 	5月28日 毎月第4土曜日教室開催 ～11月26日 11月26日 完成披露上映会

放課後・家庭教育推進費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
放課後子ども総合プラン運営委員会 予算額：272千円		6月下旬 第1回運営委員会の開催 10月中旬 第2回運営委員会の開催 3月中旬 第3回運営委員会の開催
放課後子ども教室 予算額：8,303千円	○4月12日～14日 小学校との打合せ会議 ○4月27日 放課後子ども教室コーディネーター研修会 参加者：16人 ○4月27日 放課後子ども教室スタッフ研修会 参加者：108人 ○5月18日 豊科北小、豊科東小、明北小、穂高北小 4校において保護者説明会 ○5月19日 明南小において保護者説明会 ○5月25日 豊科南小、穂高南小、穂高西小、三郷小、 堀金小5校において保護者説明会 教育長 堀金小保護者説明会出席予定	5月18日 放課後子ども教室の実施 ～3月 2月中旬 地域連絡会議の開催
家庭教育支援事業 予算額：1,900千円	○4月26日 情報誌ポケット5月号の発行 ○5月26日 情報誌ポケット6月号の発行	5月～3月 情報誌ポケットの発行 9月 第1回家庭教育講座 11月 第2回家庭教育講座

児童館運営費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
児童館・放課後児童クラブ 予算額：173,966千円	○児童クラブ入所随時受け ○5月 堀金児童館網戸設置工事(582,117円) ○5月 豊科中央児童館樋、軒天修繕(275,400円)	5月 堀金児童館網戸設置工事 11月 入所説明会、入所申請受け 12・1月 入所審査・調整 2月 入所決定通知書発送 3月 入所説明会

社会体育総務費事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
スポーツ推進委員会 予算額：2,412千円	4月14日 第1回スポーツ推進委員会全大会 内容：委員委嘱、役員決定、事業計画等	
スポーツ推進審議会 予算額：182千円		4月下旬 スポーツ推進審議会委員選出 6月中旬 第1回審議会開催予定 申請に基づき随時対応
各種競技会及び発表会出場者 激励金交付事業 予算額：1,200千円	4月末現在 申請件数：5件 交付額：130千円	
市民スポーツ祭 予算額：1,500千円		5月24日 第1回実行委員会の開催 6月26日 第7回市民スポーツ祭総合開会式及びスポーツ交流会等
安曇野市体育施設使用料の見直しについて		6月中旬 第1回スポーツ推進審議会に諮問予定
公式スポーツ施設整備計画推進	4月26日 南部総合公園再整備及び新体育館整備基本計画策定支援業者との打合せ	5月26日 公式スポーツ施設整備推進庁内プロジェクトチーム会議開催予定

スポーツ振興事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
スポーツ教室等 予算額：8,352千円	○嶋原清子ランニングクリニック 4月24日開催分：一般69人、ファミリー83人参加 ○市町村対抗駅伝大会 ＜一般＞9区間、59チーム中12位 ＜小学生＞4区間、62チーム中7位 ○第37回北信越国民体育大会 カヌー競技 5月8日(日)に前川(明科)で開催された。 ※8月に乗馬競技が安曇野乗馬苑で開催されます。	○嶋原清子ランニングクリニック 5月22日 場所：堀金小学校体育館・校庭 ○スポーツ教室(13種)の開催開始 インターバル速歩体験会・講座、ヘルスアップ教室、ウェーブリングストレッチ教室、ピラティス教室、初心者ヨガ教室、スマイルステップ教室、ニュースポーツ教室、ノルディックウォーク講習会、ファミリースポーツカフェ、わんぱくGYM、コオディネーショントレーニング、親子スポーツ教室、親子ウキウキ体操教室

社会体育施設管理費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
穂高立足マレットゴルフ場松伐採工事		6月上旬 松伐採工事契約予定
黒沢マレットゴルフ場松伐採工事		6月上旬 松伐採工事契約予定
三郷体育館耐震補強工事設計業務	5月9日 耐震補強工事設計業務業者選定	6月中旬 耐震補強工事設計業務契約予定
明科体育館非構造部材耐震化工事設計業務		5月30日 耐震化工事設計業務業者選定予定
三郷文化公園体育館電話交換機設置工事	4月25日 電話交換機設置工事完了	
公共施設予約システム	5月19日 新予約システム構築に伴う打合せ	10月1日 新システム稼働予定

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等） <文化課>

文化課文化振興係

文化振興事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
文化振興計画 進捗管理	・進捗管理	・現計画の計画期間は H29 年度まで。H29 年度に策定委員会組織の準備
東京藝術大学交流事業	○楽器演奏指導事業 ・指導：東京藝術大学音楽学部 小畑善昭教授、器楽科学生 ・対象：市内中学校吹奏楽部生徒、市民 ・第 1 回 6 月 4 日（土）～5 日（日） 楽器演奏指導（4 日）と合同コンサート（5 日）	・大学、学校等との調整 ・合同コンサート準備 ・初めての事業となる小中吹奏楽祭（10 月）の円滑な運営、H29 以降の開催日の調整
早春賦音楽祭 主催：主催：あづみの公園早春賦音楽祭 実行委員会	・第 12 回あづみの公園早春賦音楽祭 期日：5 月 4 日（水・祝） 会場：国営アルプスあづみの公園 来場者数 15,114 名（昨年度 14,018 人） ・内容 園内 8 つのステージで、「早春賦」合唱、「吹奏楽の祭典」など多彩に開催。	
早春賦音楽祭 本ステージ	・5 月 29 日（日） 穂高会館	
信州安曇野薪能 主催：信州安曇野薪能実行委員会	・第 26 回信州安曇野能楽鑑賞会 期日 8 月 20 日（土） 会場 豊科公民館ホール 演目 舞囃子「天鼓」、能「融」「紅葉狩」、狂言「鐘の音」 ・第 1 回実行委員会（4 月 28 日） ・第 2 回実行委員会（5 月下旬）	・龍門湊公園から豊科公民館ホールに会場を移して初めての開催。青木先生と舞台確認をし、設営の詳細等について検討。
能楽教室	期日／会場 6 月 28 日（火）／豊科南中学校 6 月 29 日（水）／豊科南小学校 演目 土蜘蛛	・5 月中旬、会場校との打ち合わせ
安曇野市美術館博物館連携事業	・美術館博物館年間予定表の作成（4 月 26 日発行） ・美術館博物館無料開放 10 月 8 日（土）～11 日（月） ・安曇野市美術館博物館連携事業 第 1 回実行委員会 6 月上旬予定	・各館との合意形成、広報 ・参加館の募集

第5回田淵行男賞写真作品公募 主催：田淵行男賞写真作品公募実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・応募総数 88 点 ・審査：3月10日（木） ・発表：4月25日（月）市長記者会見にて 田淵行男賞 澤井俊彦「ツキノワグマ 21世紀の野生」 アサヒカメラ賞 砂村栄力「Survival of the “Determined”」フォトコン賞 たけうちかずとし「五分の魂」岳人賞 山口大志「コルバ」 山と溪谷賞 石川元之「田を巡るランドスケープ」 ・表彰式：8月11日（木・祝）午後2時～3時30分 表彰式終了後、講演会（講師：飯沢耕太郎氏） 	・表彰式準備
安曇野紙ヒコーキ大会 教育委員会共催	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ヒコーキ教室：4月11日（土）南社会体育館 参加者数 20人 ・大会：4月12日（日）南部総合公園 参加者数 40人 	
「安曇野文化」刊行	<ul style="list-style-type: none"> ・編集委員会 4月15日（金）19号、20号について ・「安曇野文化」発行 H28年度は、19号～22号発行 	
博物館協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議：5月20日（金） 平成27年度各館事業報告について 	
安曇野市美術資料等選定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議：6月2日（木） 資料の移管・美術資料（プリント）の作成について 	

高橋節郎記念美術館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
企画展「高橋節郎の軌跡Ⅰ～出会いと初期作品～」	<ul style="list-style-type: none"> ・会期 7月16日（土）～9月4日（日） ・内容 高橋節郎の初期作品と、人生に影響を与えた作家の作品展示。豊田市美術館高橋節郎館・長野県信濃美術館等より作品を借用。 ・開会式 7月16日（土）・講演会 8月上旬 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品借用先との調整 ・開会式の内容（コンサート等）について ・講演会講師の選定
「そば猪口アート公募展」	<ul style="list-style-type: none"> 募集受付 7月5日（火）～18日（月・祝） ○審査会 8月1日（月）・2日（火） ・入賞 大賞1点、準大賞1点、優秀賞2点 ○展覧会 10月4日（火）～11月6日（日） ・表彰式：10月8日（土） ・市商工会の「新そばと食の感謝祭」、安曇野スタイル連携「喫茶チロル」での「そば猪口展」出品、協力 ○巡回展 ・愛知県瀬戸市新世紀工芸館 ・山形県白鷹町文化交流センター「あゆむ」 	

文化財保護事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
文化財事業補助金申請事務手続き	補助事業を実施している無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財維持管理関係、有形文化財の修理関係等、既に申請を受け付け開始している。	随時事務処理を行う。
出前講座 あづみのフィルムアーカイブ 映画「よみがえる安曇野」	H28. 4. 28:明科地域社会福祉協議会総会 14:00～ H28. 5. 11:明科七貴萩原地区社協 9:45～ H28. 5. 21:明科東川手潮地区社協 10:30～ H28. 5. 21:明科中川手大足地区社協 13:30～ H28. 5. 21:安曇野市身障協会総会 15:00～	出前講座の申請があれば、随時対応したい。
民家調査	平成24年～26年に実施した民家調査の考察。 安曇野における本棟造りの有り方について調査。(文化財保護審議会委員：梅干野成央氏、信州大学工学部、長野県建築士会と調査内容等協議中)	業者選定委員会→契約
指定文化財の現状変更、損傷届等事務処理	史跡「飯田砦」現状変更事業実施報告書の受理 名勝「山口家庭園」いちい強風による枝折れに伴う損傷届の受理及びその後の対応協議	
文化財保護へ向けた啓発活動	広報への文化財コラムの掲載	

歴史文書整理事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
歴史的価値ある公文書の登録	豊科・穂高・三郷・明科地域の切図等の受け入れ及び登録	古地図の保管方法について協議。
古文書整理作業	飯沼家文書の調査	引き続き調査
歴史資料等登録へ向けての準備	新しいシステム導入に向けての協議 仕様書の検討	業者選定委員会→契約

埋蔵文化財発掘調査事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
ほうろく屋敷遺跡(明科南陸郷)発掘調査片付け	発掘調査後の埋戻し等。	事務処理
潮神明宮前遺跡発掘調査の準備	明科地域消防詰所建築に伴う発掘調査に向け、試掘調査を実施	発掘調査の実施

埋蔵文化財包蔵地内等での開発に対しての工事立会	一般開発・公共事業に伴う工事立会	開発業者との連絡調整
文化財保護法93・94条関係の事務	周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行なわれる際の届出・通知受付事務	随時対応
埋蔵文化財発掘調査報告書作成	芝宮南遺跡発掘調査（穂高南小学校プール建設） 原稿の入稿	校正作業→刊行
遺物整理作業	穂高神社境内遺跡発掘調査（穂高支所建替え） 遺物整理作業…遺物洗浄他	復元、実測等

文化課博物館係

郷土博物館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
展覧会 1 夏季企画展 「安曇野 人の一生 I—大人になるってどんなこと?—」展	○開催概要 ・内容：安曇野の人々の誕生から成人までの願いや祈りが時代によってどのように変容したか、また大人＝一人前になるとはどういうことなどをテーマした展覧会。 会期：7月16日（土）～8月28日（日） 関連企画： ○講演会「演題未定」：平成28年7月23日（土）午前10時～12時（会場 豊科交流学習センター きぼう） ○ワークショップ「子どもの魔除け・背守りをつくろう」 日時：7月30日（土）午後1時30分～3時30分 ○ワークショップ「伝統食をつくろう」 日時：8月20日（土）午前10時～午後1時 ○夜の博物館を楽しもう「オリジナルろうそく作りと博物館で肝試し」日時8月11日午後5時30分～7時	・広報の検討 ・市内高校の在學生（2, 3年）への成人意識調査 ・子育て世代を対象とした出産・育児調査 ・30代前半の市職員等を対象とした成人意識調査 ・展示資料借用等
展覧会 3 出前展示（コンバクト展示） 「昭和の農機具—安曇野機械化農業の足跡—」	○開催概要 ・内容：国営アルプスあづみの公園オープニングイベントに合わせ（公園側からの要請により）、戦後における安曇野の農業について、大きく変化した農機具について年代別に比較展示する形で示す展覧会。 ・会期：6月18日（土）・19日（日）	・国営公園担当との調整 ・展示資料の選定及び展示環境等の検討
講座 1 講座 「縄文土器を作ろう！」	○開催概要 開催日：6月26日（土）土器づくり 10月15日（土）野焼き 会場：穂高鐘の鳴る丘集会所 内容：土器の制作、野焼き 講師：矢口健陽児氏	・参加者募集 5月24日（火）～6月23日（木） ・6月25日（金）土器づくり準備 ・10月14日（金）野焼き準備

<p>講座</p> <p>2 講演</p> <p>「戦争を直接体験された市民の方から話を聞こう」</p>	<p>○開催要項</p> <p>開催日：毎月第2水曜日</p> <p>会場：豊科郷土博物館学習室</p> <p>内容：聞き取り調査対象者を中心に、安曇野市内での戦争実体験をもとに話していただく。</p> <p>講師：順次選定し依頼していく。</p>	
------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

郷土資料館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
<p>穂高鐘の鳴る丘集会所の施設使用</p>	<p>○内容</p> <p>・郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。</p>	
<p>ワークショップ</p> <p>民具を知る・民具で学ぶ～博物館で活動しよう～</p> <p>（会場は基本的に鐘の鳴る丘集会所及び穂高郷土資料館）</p>	<p>○内容</p> <p>・郷土博物館・資料館で行っている民具資料を活用し、安曇野の昔の暮らしを伝承する人材を育成するための講座</p> <p>第1回 6月3日（金） 民具を使った博物館活動の現状と課題</p> <p>第2回 7月初め（未定） 大麦の虫かご作り</p> <p>第3回 8月5日（金） わら草履作り</p> <p>第4～5回 10月以降</p>	<p>講座参加者のうち、興味のある参加者には、今年度の「昔の暮らし体験教室」などの博物館活動に参加してもらい、教育普及活動のための人材を育成していく。</p>

文化財資料センター事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
<p>文化財資料センターの修繕</p> <p>1 施設軒天等の修繕（予算額：584千円）</p> <p>2 外倉庫雨漏り修繕（予算額：108千円）</p>	<p>○内容</p> <p>・施設軒天が剥がれ軒天が空いている状態、今後落下する危険性もあるので剥がれている箇所について修繕を行う。</p> <p>・刊行物を収蔵している外倉庫の屋根を改修して天井の雨漏りを防ぐ。</p>	<p>・部内業選定後、契約</p>

貞享義民記念館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
<p>企画展示</p> <p>1 木工芸品展</p>	<p>○開催概要</p> <p>・開催期間：5月10日（火）～5月29日（日）</p> <p>猿田木工の猿田秀隆さんによる、自然木加工作品を多数展示する。</p>	<p>・開催中</p>

<p>2 森の妖精さんたちのキルト展</p> <p>3 絵画展「信州の四季を描く」</p> <p>4 93歳の手仕事と、木の実あそび</p>	<p>・開催期間：5月24日（火）～5月29日（日） 創作キルトを中心に、キルトクラブのメンバーの作品を展示する。</p> <p>・のこぎり演奏会 日時：5月25日（水）午後2時～</p> <p>・ワークショップ：「簡単アップリケ教室」 日時：5月26日（木）午前10時～</p> <p>・開催期間：5月31日（火）～6月12日（日） 安曇野在住20年の上井彦之介さんが、日々目を奪われた風景を描いた絵画約20点を展示する。</p> <p>・開催期間：6月14日（火）～6月26日（日） 93歳の母の手作り小物と、リースなどの木の実アート作品を展示する。</p> <p>・ミニコンサート 日時：6月17日（金）午後2時～</p>	<p>・展示作業：5月21日か22日 撤収作業：5月31日</p> <p>・演奏会、ワークショップについて打ち合わせ</p> <p>・展示作業等について打ち合わせ</p> <p>・広報229号に掲載 ・展示作業、コンサートについて打ち合わせ</p>
<p>講座</p> <p>1 義民をたずねて ⑰「越後国頸城一国騒動」</p> <p>2 古文書講座「古文書、はじめての挑戦—その時何が起きたか!？」</p>	<p>○開催概要</p> <p>・内容：享保7年、越後国頸城郡で起きた騒動について講師の講義を聞き現地を見学する。 日程：平成28年5月25日（水） 時間：午前8時～午後6時 講師：高橋 雅史さん（上越市史研究者） 花岡 公貴さん（上越市総合博物館主任学芸員） 人数：30人（抽選）</p> <p>・内容：古文書読解の基礎を学びながら、「信府統記」から貞享騒動の条文だけではわからない事情や騒動の過程をさぐる。 日程：平成28年6月4日、18日、7月2日、23日、9月10日、24日、10月15日、29日 いずれも（土） 時間：午後1時30分～3時30分 講師：青木 教司さん（元松本城管理事務所研究専門員）</p>	<p>・申込受付中</p> <p>・5月15日〆切後抽選、受講者決定 ・抽選結果連絡・資料送付</p> <p>・広報228号に掲載、受講者募集（先着順） ・テキスト作成</p>

市制施行 10 周年記念事業 個別事業実施報告書


(事業区分：市民提案協働事業)

事業名	あづみのフィルムアーカイブ事業				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	13	委託料	3,780	3,780	「よみがえる安曇野」制作 映像史料(8mmフィルム)のデジタル化
	合計		3,780	3,780	
	上記の補助金等を含めた事業の総額【 千円】				
実施日	平成 27 年 8 月～平成 28 年 3 月 上映会：平成 28 年 3 月 26 日		会場	「穂高交流学习センターみらい」他	
実施主体	市・あづみのフィルムアーカイブ		課・事務局	文化課 文化財保護係	
趣旨・ 事業概要	<p>昭和 30～50 年代の安曇野の様々な風景、農作業等日常の風景、運動会・お祭り等地域行事、子どもの成長記録等々、家庭等で撮影した 8mm フィルムを収集し、貴重な映像史料としてデジタル化を行なう。出来上がった DVD 等は、映像提供者の他、映像史料として教育委員会で保管する。また、映像提供者への取材の様子も取り入れながら、新たな安曇野の創造へ繋がるような映像作品を制作する。出来上がった作品は上映会を開催し市民の皆さんに観てもらおう。</p> <p>【映像制作に協力いただいた市民 約 180 名】 【上映会来場者数 370 名】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>H27.8 月～9 月 8mm フィルム募集 提供本数：約 276 本</p> <p>H27.8.11 「あづみのフィルムアーカイブ はじまりの上映会」参加者：20 名</p> <p>H27.9 月～11 月 提供フィルム目録作成 H27.11 月～12 月 テレシネ作業</p> <p>H27.11 月 15 日 「ホームムービーの日 in 安曇野」(中間報告)参加者：60 名</p> <p>H28.1 月 フィルム提供関係者への取材と制作作品 BGM 収録 協力者：約 100 名</p> <p>H28.2 月～3 月 映像作品の編集</p> <p>H28.3 月 26 日 「よみがえる安曇野」上映会：来場者数：370 名</p> <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散逸(劣化含む)の危機ある貴重な映像史料を保存活用することができた。 ・作品制作には、フィルム提供関係者はもちろん、BGM 収録では市内音楽サークル・小・中学校のクラブ等、多くの市民が制作に関わることができた。 ・「よみがえる安曇野」上映会には 370 名の来場者があり、たいへん好評であった。また併せて BGM で使用した童謡・唱歌を中心とする音楽会も実施した。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した 276 本のフィルムのうちデジタル化は約半数。残りのフィルムの中にも貴重な映像があるため翌年度以降減少しつつデジタル化を進めたい。 ・制作した映像作品(資料)についての今後の活用方法を考えていきたい。 <p>(地域の集まり、学校の授業、博物館の展示、福祉教材など)</p>				
備考					

安曇野市 市制施行10周年記念事業

あづみの フィルムアーカイブ

～8ミリフィルムで語る安曇野の風景～



**8ミリフィルム
大募集!**

あづみのフィルムアーカイブは、押し入れに眠っている8ミリフィルムを掘り出し、安曇野の暮らしや文化風景を映像で伝えるプロジェクトです。子どもの成長記録や運動会、お祭りや製作展など安曇野で撮影した映像を募集します。お気軽にご応募下さい。

◆応募方法◆
 ①お電話下さい TEL.0263-71-2464
 ②フィルムの受け取り
 ③専門スタッフがテレシネ（フィルムのデジタル化）を行います
 ④作業完了後、お預かりしたフィルムと中身をダビングしたDVDを返却します

◆対象フォーマット◆
 8ミリフィルム（シングル8・レギュラー8）、9.5ミリフィルム / 16ミリフィルム

◆公開について◆
 ご提供いただいた映像の一部は、専用サイトで公開する他、安曇野の記録所蔵に活用させていただきます。また安曇野市市制施行10周年記念上映会を行う予定です。

◆応募締切◆平成27年9月末日まで

主催 安曇野市フィルムアーカイブ お問い合わせ 安曇野市市民生活部市民課 TEL.0263-71-2464



小・中学生・一般の方の協力のもとBGM収録

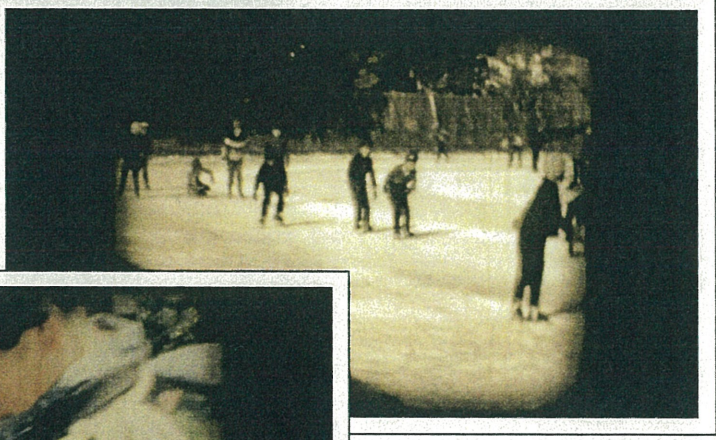
フィルムでつづる
懐かしの1ページ



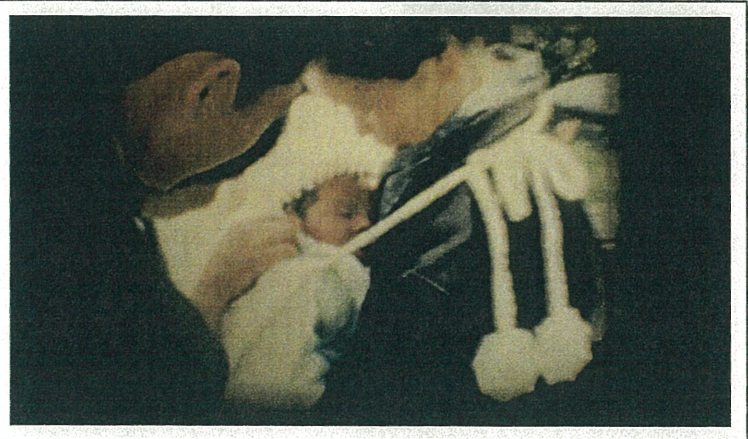
↑ ボンネットバス



↑ ラジオ体操



↑ 校庭スケートリンク



← お宮参り



上映会受付の様子（午前の部）



上映会の様子

上段 上映会の中で行った市民の皆さんによる音楽会
下段 上映会

映画『よみがえる安曇野』上映会
平成二十八年三月二十六日
徳高交流学習センター みらい



上映会の様子



上映会終了後の記念写真

・あづみのフィルムアーカイブスタッフと、音楽意を企画いただいた音楽サークルの皆さん

『「よみがえる安曇野」上映会と音楽会』が無事終了しました。

午前の部は会場から人が溢れてしまうほどの大盛況。

午後も多くの方々に来て頂き、計370名の方々にご来場頂きました。

上映は約50分。集まったフィルムを凝縮した濃密な時間。

懐かしいフィルムや見たことも無い安曇野の風景にお客さんたちも喜んでいました。

上映後の音楽会では、BGMで参加していただいた早春賦愛唱会をはじめ、

小中学校の合唱部やオカリナ奏者も参加。世代を超えたステージになりました。

フィルムアーカイブが映像史料の収集保存という目的を越え、

地域活性化の新しい仕組みとしての可能性を十分にもっていることが証明できたと思います。

来年度以降もフィルムのデジタル化や上映会などを行いながら、

市民の方々と共に新たな安曇野を発見していきますので、

今後ともご支援よろしく申し上げます。

新着情報 (安曇野)

2016年03月31日

あづみのフィルムアーカイブ HP より

あづみのフィルムアーカイブ HP より

安曇野市協働事業総合評価シート

事業名	あづみのフィルムアーカイブ事業	
事業主体	(団体名) あづみのフィルムアーカイブ	(代表者) 三好 大輔
	(市担当部署名) 教育部 文化課 文化財保護係 (担当:山下 泰永)	(代表者) 那須野 雅好

(4 充分達成した 3 ほぼ達成した 2 あまり達成しなかった 1 達成しなかった)

項目	評価内容及び評価基準		評価				
企画段階	目的・課題の共有	協働のパートナーと課題を共有しましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 事業推進に当たり双方で十分な検討を行い、課題を充分共有した。					
	事業計画	協働のパートナーと課題を共有するとともに、目的を共有しましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 事業推進に当たり双方で十分な検討を行い、目的を充分共有した。					
	事業手順・スケジュール	事業の目的達成のための手順とそのスケジュールを明確にしましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 ・事業計画を策定する際に、事業推進の手順を明確にした。 ・事業遂行にあたり、事業の完了までのスケジュールを明確にした。					
	情報の共有	協働事業を進めるに必要な情報を共有しましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 事業を進めるために必要な情報(社会情勢、地域性など事業に関わる環境など)を共有した。					
	協働の必要性	協働事業の必要性	協働事業としての成果と必要性を双方が共通認識を持ちましたか。	4	3	2	1
			評価基準 ・なぜ協働事業とするのか、その効果などを双方で確認した。 ・双方が持つ資源の強みや弱みを共有した。				
役割分担の明確化		協働のパートナーとの十分な検討により、事業遂行にあたる役割分担を明確化しましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 双方の十分な検討により、役割と責任の分担を明確にした。					
事業推進	協働による事業推進	双方が協力し合い、事業を推進しましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 一方だけが負担を負うのではなく、役割分担により双方が行うべき事項を遂行するとともに、足りない部分を充分補った。					
	事業の進捗管理	双方が事業の進捗管理を適切に行いましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 ・双方の立場から事業の進捗状況をチェックするとともに、必要に応じて修正を図った。 ・事業の進捗状況をチェックするため、双方が必要に応じて話し合いを設けた。					
事業評価	自己評価	事業終了時に協働事業としての自己評価を双方それぞれ行いましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 事業の評価を双方それぞれで実施した。					
	事業の検証	事業終了時に、双方による事業を振り返る検証の機会を設けましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 事業終了後、双方が事業を振り返るための話し合いを行った。					
事業の成果	協働事業による事業効果	協働事業により、高い成果が生み出されましたか。	4	3	2	1	
		評価基準 ・目標が達成された。 ・協働により、事業の効果が高まった。					
		評価基準 ・役割分担が十分発揮された。					

○課題・今後の展望など

- ・今回の応募期間は8月～9月の2ヶ月間で提供を受けたフィルムの本数は276本であった。そのうち予算及び時間の関係上、デジタル化できたのは約半数であった。また応募期間以降、新たに所在が判明したフィルムもある。したがって、今回デジタル化できなかったフィルムの中にも貴重な映像があるためH28年度以降少しずつデジタル化を進めたい。
- ・提供を受けたフィルムにどうしても地域的な偏りがでてきてしまった。今後フィルム提供の少なかった地域の所在調査を重点的に行ないデジタル化を進めたい。
- ・今回事業を進めていく中で、フィルムのデジタル化とともに重要なのが、当時のことを知る人たちからの聞き取りである事を再認識した。今後は、聞き取りについても積極的に進めたい。
- ・制作した映像作品や個々の映像史料の今後の活用方法を考えていきたい。地域の集まりの際に市民の皆さんに観てもらふことはもちろん、学校の授業や博物館の展示等でも映像を積極的に取り入れられるよう考えていきたい。また、実際に映像を見てもらった時の高齢者の反応がたいへん良い感じを受けた（昔を思い出し話が尽きない状態）。よって、高齢者福祉の場で活用ができないか今後検討していきたいと思う。

○市民の皆さんから寄せられた主な意見(上映会でのアンケートより)

全体的な傾向としては、昔を思い出し、大変懐かしく感動したとの感想が過半数を占め、生き生きとした昔の生活、幸せにあふれた笑顔、人と人とのつながりといった古き良き時代を懐かしく思い、感銘を受けていた方が多かった。貴重な映像により消えゆくものを後世に残すという今回の企画は、市政施行10周年記念にふさわしいもので、ふるさとを再認識・再発見する素晴らしい企画でよかったとの声も散見し、続編を期待するとの感想も多く見受けられた。音楽会とのコラボも、美しい歌声が映像とマッチし、なごみがあったと好評だった。

今後の課題としては、以下のような意見・要望が挙げられている。

- ・映像の地域に偏りがあったので、広範な地域にわたっての映像収集の必要性がある。
- ・フィルム映像が年代順であった方がわかりやすく、テロップ(字幕)等で映像の一つ一つの年代がわかると、なおわかりやすいのではないかと。記録としてだけでなく、記憶に残るものとして仕上げしてほしい。
- ・非日常を撮った映像よりも、農作業風景やごく普通の日常風景を集めたものが観たい。
- ・埋もれたままの新たなフィルムをできるだけたくさん掘り起こし、発掘・編集保存に努めるとともに、良いものができたら順次公開して欲しい。
- ・フィルムを常設して、敬老会など予約すればどこかで観られるようにしてもらえるとありがたい。
- ・未来の安曇野を担っていく子どもたち、若い人たちにこの映像を見てもらえる機会を多く作って欲しい。
- ・今後もこのようなイベントを時々開いて欲しい。

○平成28年度の上映会(H28. 5. 20現在の申し込み状況)

文化課では「協働のまちづくり出前講座」のメニューの1つとして取り組んでいます。

- ・明科地域社会福祉協議会総会(4/28) ・明科七貴荻原地区社協(5/11) ・明科東川手潮沢地区社協(5/21)
- ・明科中川手大足地区社協(5/21) ・市身障協会総会(5/21) ・豊科高家真々部地区社協(6/8)
- ・安曇野市老人大学講座(1月)

平成 27 年度第 3 回安曇野市博物館協議会 会議概要

- 1 会議名 平成 27 年度第 3 回安曇野市博物館協議会
- 2 日時 平成 28 年 3 月 25 日 午後 1 時 30 分から午後 4 時 00 分まで
- 3 会場 安曇野市役所本庁舎 3 階 共用会議室 305
- 4 出席者 笹本会長、滝沢副会長、赤沼委員、平倉委員、小野委員、細野委員
橋渡教育長、那須野文化課長、宮下高橋節郎記念美術館長、降旗豊科近代美
長兼穂高陶芸会館長、大月飯沼飛行士記念館長、逸見穂高郷土資料館担当、
堀田淵行男記念館副館長、清水貞享義民記念館長、
- 5 担当課出席者 山田文化課長補佐、小倉博物館係員、丸山文化振興係主事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0 人 記者 1 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 28 年 4 月 20 日

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 (那須野文化課長)
- 2 あいさつ (橋渡教育長)
(笹本会長)
- 3 報告・協議
 - (1) 平成 28 年度各館事業計画について
 - (2) 安曇野市新市立博物館構想について
 - (3) その他
 - ・附属機関見直しに係る安曇野市博物館条例の一部改正について
- 4 その他
- 5 閉 会 (那須野文化課長)

○協議概要

(1) 平成 28 年度各館事業計画について

○各博物館・美術館長 (資料内容説明)

○委員からの意見

会長 ・地域創生が言われる中、地域の未来を背負う博物館に対し、指導をし意見を言うのが本協議会の役割である。本日も御協力をお願いしたい。

・安曇野市新市立博物館構想の実現に向けて準備が始まる。

委員 ・連携事業について、出前展覧会は良い印象を持っている。来年度も実施を検討していただきたい。また、期間が延びればよいと思う。テーマを設定して展覧会を行えばより魅力的になるのではないかな。

会長 ・連携事業を始めとして、美術館・博物館が大きく変わってきた。今後とも是非続けていただきたい。

委員 ・豊科郷土博物館の人権パネル展は、名前を見た限りでは少し取っ付きにくい。行きたいと思わせるキャッチフレーズを考えていただきたい。また、グッズ等もあればよいと思う。

・美術館の無料開放期間について、来年度もできれば 1 週間やっていただきたい。

・ギャラリートークについて、期間中は毎日開催していただきたい。休館日について

	の問題提起として考えていただければと思う。
会長	・キャッチコピーはとても大事であり、内容以上に表題で人の心をつかむところがある。博物館・美術館はその点、今後努力していただきたい。
委員	・無料開放日については、2回に分けて実施する等色々な方策を考えていただきたい。
委員	・出前展覧会について、是非来年度もみらい・きぼうなど市民が気楽に行けるところで実施していただきたい。
委員	・英語でパンフレットをつくるということだが、英語のワークショップで外国人観光客を引き入れる方策を考えていただきたい。
会長	・これから新市立博物館ができるまでの間、コンパクト展示等で市民の空気を醸成していく。日々市民に見ていただくことで、美術館・博物館側もスキルアップする。是非今後ともご検討いただきたい。
委員	・海外からの観光客について、どの層をどのように吸い込むかということが問題になる。ひとつの市やの町にとどまらず、どうやって横に繋がるかが大事になる。
委員	・学校への出前講座は人権についても是非やっていただきたい。
委員	・安曇野検定について、市の職員や学校の先生も受けてほしい。可否や点数は別問題として、そのために学習し、興味を持てることが重要だと思う。
委員	・拾ヶ堰開削 200 年についてもどこかで取り上げていただきたい。
会長	・博物館は待つだけでなく、博物館が出て行って市民の意識を変えていく時代に合わせてきている。学校の先生や市の職員の教育も必要になるだろうと思う。
委員	・郷土博物館について、卒業するまでに1回は体験できるように、3年間で全小中学校を回れるような仕組みをつくってほしい。
委員	・民具ワークショップは、映像やイラストに残していただきたい。
委員	・近代美術館について、具体的にやりたいことを明確にした上で委員会にかけて議論することが必要と思う。そこまで突っ込んだ計画というものを立ててほしい。
委員	・来館者のニーズについて、いつどこで把握するのか。具体的に示してほしい。
委員	・ナイトミュージアムについて、他の施設とのタイアップで何かできれば良い。きぼうと美術館の間にある壁面を利用して、壁面に映像を映して音楽を流すという仕掛けができれば良いと思う。
委員	・貞享義民館について、資料の整理のところに「見学者にもわかりやすく」とあるが、これはどの館でも取り組んでほしい。
委員	・陶芸会館について、12年ぶりの特別展ということで脚光を浴びておりうれしい。入り口の特別展の看板は大きくしたほうがよい。洗馬焼の技法について、写真やイラストで展示すれば作陶への理解が深まると思う。
会長	・豊科郷土博物館の教育普及活動、常設展のところに「用水堰の開設と私たちの暮らし」（拾ヶ堰開削 200 周年記念）とある。安曇野は拾ヶ堰によって大きく景観が変わり、生産性も変わったということを皆が意識していく必要がある。
委員	・貞享義民館のトイレについて、ウォッシュトイレを整備して欲しい。
会長	・博物館協議会として意見を言うことが、博物館活動の都合の良さにも繋がるので、引き続き意見をお願いしたい。
委員	・市民から見ればどこが指定管理館でどこが直営館かはわからない。そういった目線で市民は考えているということを意識して欲しい。
会長	・博物館へ行かない人は、なぜ行かないのかということをどこかで知りたいと思う。
委員	・NHKのBSで放送された田淵行男の番組が大変良かった。鑑賞会をどこかでできるとよいと思う。
田淵館	・その件について、不特定多数の人に周知する場合にはNHKの許可が必要になるが、現状として、これが得られていない。

- 会長 ・良い番組なので、どのように活用できるか、今後検討していただきたい。
- 委員 ・今後は是非人を育てていただきたい。新しい展示もいろいろ実現していただいているが、展示を活字等の記録に残して、次の展示にまた生かしていただきたい。
- 会長 ・活字化の問題について、「安曇野風土記」の2冊目が出ると、翌年3冊目が出せる準備になっている。この様なものがいくつか揃うことによって「安曇野市」という特徴がつかれると思う。

(2) 安曇野市新市立博物館構想について

○事務局からの説明

- 会長 ・具体的な方向性が示された。この中でも、学芸員については早めに育てたい。現状では即座に取り掛かるのは難しいが、準備室等の準備が始まっている。結果として、将来良い博物館ができるように進めていただきたい。

(3) その他

- 事務局 ・非常に活発なご意見をいただいた。今日をもって本年度は終了となり、来年度はメンバーの半分以上が入れかえになる。

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

1	審議会名	平成28年度 第1回文化財保護審議会概要
2	日 時	平成28年4月25日(月) 午後3時00分から午後4時30分まで
3	会 場	安曇野市役所 共用会議室301
4	出席者	石田会長 倉石委員 大澤委員 梅千野委員 百瀬(新)委員
5	市側出席者	橋渡教育長 山田教育部長 那須野文化課長 文化財保護係長 山下 文化財保護係 横山
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人
8	会議概要作成年月日	28年5月11日

- 1 開 会 那須野文化課長
- 2 あいさつ 教育長
- 3 委嘱書交付 教育長 (任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日)
5名 石田益雄委員 倉石あつ子委員 梅千野成央委員 百瀬新治委員 大澤慶哲委員
- 4 自己紹介
事務局に引き続き、文化財保護審議会委員
- 5 会長及び職務代理の選出
互選により、会長：石田委員 職務代理(副会長)：百瀬委員
石田会長挨拶
百瀬職務代理挨拶
- 6 報告事項
事務局
 - (1) 指定文化財の課題と今後の修復・修理等計画について
 - (2) ◎国指定文化財
 - ・曾根原家住宅(重要文化財)の修理計画と課題について
 - ・中房温泉の膠状珪酸および珪華(天然記念物)施設整備計画と説明版の設置等今後の計画
 - ◎国登録文化財
 - ・中房温泉本館菊ほか(登録有形文化財)の修理希望について
 - ◎県指定文化財
 - ・穂高神社の御船祭りの習俗(県無形民俗文化財)を含む市内のおふね祭りの国選択無形文化財選定へ向けた調査等について
 - ・多田加助宅跡(県史跡)の堀脇の枯れた松の伐採について
 - ・山口家庭園(県名勝)庭園内の枯枝伐採について
 - ・木造日光菩薩立像・月光菩薩立像(光久寺)(県宝)今後の管理場所について
 - ・光久寺の薬師堂(県宝)の修理について
 - ・長光寺薬師堂及び宮殿(県宝)の修理について
 - ◎市有形文化財
 - ・碌山美術館の荻原守衛(碌山)全作品集の修復作業に伴う経費補助について
 - ・満願寺の微妙橋裏側の梵字墨書の退色対策について
 - ・三宮穂高社御造宮定日記の保管管理について
 - ・鐘の鳴る丘集会所の今後の活用方針と耐震補強計画

- ・穂高神社の神橋の破損防止対策について
- ・有明山神社の詩歌集「残月集」の保管管理について
- ・一日市場の屋台（ぶてん・舞台）の修理計画について
- ・旧小穴家住宅の改修について
- ・青柳家の旧松本城大手門修理について
- ・小泉の梵字庚申塔の風化を防ぐ対策について

◎有形民俗文化財

- ・旧仏法寺の石造百体観音の修理計画について
- ・平福寺の絵馬・唐絵・仏画の退色を防ぐ対策について

◎天然記念物

- ・吉野荒井堂の大いちょう 枯枝対策について
- ・本村の大シダレザクラの支柱の付け替えについて
- ・旧浄心寺跡のクロマツ・カヤ・イチョウの保護について
- ・矢原社宮地のマユミの保護計画について

(全体的な課題)

- ・文化財所有者及び管理団体の高齢化、過疎化による文化財管理団体の存続危機
- ・高齢化、過疎化による無形民俗文化財催行の危機及び後継者の不在
全国的な事例等を研究して対応していきたい。

(質問・意見)

委員：地震と文化財建造物の老朽化も問題。

委員：穂高型のおふねの範疇について明確にしてほしい。

事務局：穂高型のおふねの範疇についての選択の幅は今後の課題として研究していきたい。

委員：御船の範疇については、報告でも木偶の有無、曳航の有無などいろいろな意見があると思うが、「担ぎふね」も、りっぱな「ふね」として見せていただいた。曳くものだけを「おふね」と定義するのではなく、広く多様なものから「おふね」の範疇を選択していくのがよいのではないか。

事務局：以前、文化庁の調査官も、多様な広い範疇を想定して話されていたことがある。

委員：先ほどの話にもあったが、幕の色がどこかの時点から変わってしまったということや、お祭りの衣装が派手になってきているという時代の流れの中でのお祭りの変容はありうることである。範疇選択の段階では、広く緩やかにしておいた方が後々やりやすいと考える。

委員：細部にこだわりすぎてお祭りの本体を見失うことがあってはならない。広範囲の解釈でよいのではないか。

委員：安曇野市の「おふね」の固有性を考えるためには、他と比べてみることも必要だと思う。里山辺にも担ぐ御船が1つあったと記憶している。神輿のように担ぐのが古い形だとも聞いている。安曇野市内に限らず他地域の御船との比較も事業として盛り込んでもよいのではないか。屋台、舞台といったものも他地域から入ってきており、交流があったことが推測される。

委員：文化庁では基本的に安曇野市だけを対象としているのか。

事務局：基本的には三田村先生の分類による。穂高型には池田、梓川も入っているが、主体は安曇野市。今後どのようにして調査していくかを検討している段階なので、今年、皆さんのご意見を聞きながら練ってきたい。

委員：以前松本の調査の反省として、入山辺から塩尻、伊那谷と県内の他地域の事例にも広げて全県的に調査した方がよかったということがあった。他地域にも目を広げて調査していくのがよいのではないか。

事務局：市の事業としては、他地域にも広げて調査するのは調整的にも難しい部分がある。イレギュラーに坂の多いところでは担ぐことになった御船もあるわけだが、基本的には文化庁も認めている三田村先生の穂高型の分類に沿って考えるのがよいのではないか。

委員：「おふね」ならいいということで、広範囲に考えたほうがよいのではないか。

事務局：屋台に舳・ともをつけた「おふね」を入れると市内だけでも50艘近くになる。どこまでを穂高型の御船と定義するかはわかりにくいところがある。その辺りはどう考えたらよいか。

委員：基本は三田村先生の分類だが、ここでは実態に沿った調査を検討した方がよいのではないかと考える。

事務局：民俗の分野では、とも等をつけた「おふね」も許容されていくものと思われるが、その辺りを明らかにしていくのが今回の調査だと考える。

委員：地域によっては、「ふね」なのか山車なのかよくわからないところがある。「おふね」の形が変わってきているので難しい問題だと思う。

事務局：文化財調査委員に挙げていただいた問題点でいくつか気になるものがある。その中で、県宝に指定された長光寺の薬師堂については、住職亡き後、檀家もないため、ハクビシンの被害、屋根のトタンの傷み等が酷く、かなり危ない状況にあることが懸念される。

委員：本来は住職が管理するものであるが、住職亡き後2年近く手入れがされておらず、建物は閉めきったままである。屋根の傷みはかなり酷いが、周辺樹木伐採後、湿気はだいぶおさまっている。

委員：一度現地を見に行く必要がある。早めに県に上げた方がよいのではないか。

事務局：今年6月に県でも現地視察に来る。

委員：建造物全体に言えることだが、文化財の管理は切実な問題となっている。

委員：高齢化が進み、保存の対応ができない場合についての他自治体の事例はあるか。

事務局：シンポジウムではそういう事例があったかと思う。

事務局：地元自治体で維持管理している事例が1例あった。

委員：市としての対応も検討する必要がある。いくつかの事例が参考になるし、資金確保も含めて調べてみてほしい。高額な個人負担は気の毒である。

事務局：定期的な修理用資金を貯蓄しているとはいえ、実際に居住していない建造物の高額な修理費を負担していただくのは気の毒である。

委員：文化財修理のための積立制度のようなものを、市側でもそろそろ考えた方がよいのではないか。そのためにも先例を参考にしたい。

事務局：文化財保護条例や文化財補助金の制度によれば市の補助は300万円が限度。一日市場の舞台の例もあるが、資金面だけでなく、修理技術者がいなくなってきているので修理費も高騰し難しい問題である。

委員：全国的にはふるさと納税を使う事例があるようだ。堺市では世界文化遺産申請にふるさと納税を活用しようとしているし、京都にも事例があるようだ。

委員：資金問題はどこの市町村でも起きてきているものだと考えられる。

委員：個人の資金では大変なこと。制度化・予算化してもらえたら助かる。

委員：工事等で個人の文化財がマスコミに取り上げられると、一時的に見学者が増えるが、有料にすると継続的な見学者増は難しくなり、なかなか増収には結びつかない。

委員：難しい問題であるが、皆様のご意見をいただきながら進めていくしかない。

(3) その他

事務局：文化庁作成『日本遺産』資料について（説明）

7 風神様の祭りについて

◎風神様の祭り

事務局：3月の合同会議の時に、調査委員から明科「柏尾の風神祭り」を無形民俗文化財にしてはどうかという意見が出た。祭りがあるのは柏尾と清水の2地域。現在の保存団体等を含めて調査していく予定であるが、保存後継者が途切れてしまうことが一番の心配点なので、その辺りを含めてご意見いただきたい。

委員：祭りとしては面白いと思うが、柏尾も清水も後継者はいるのか。文化財に指定してもすぐに途切れてしまうようでは心配である。

委員：中心となる人物が頑張っている地域は比較的大丈夫と考えるが、1・2軒で催事を行なっている地域は厳しい状況だと思う。

委員：継続していこうという機運は盛り上がっているので、肯定面・否定面の両面をきちんと押さえて協議していくのがよい。

委員：いずれにせよ、一度データとして記録に残すことが大事と考える。指定解除があったとしても、指定の事実として残しておくことに意味があると思う。

委員：柏尾は過疎化が進んでおり、住人だけでは対応できない状況で、50・60代の方が祭りの際に戻ってきてもらうように存続させている。そういった変容や推移を押さえておく必要がある。

委員：よそからのものが入ると祭りの内容が変わってしまう心配もあるが、否定面ばかりに目を

向けるのではなく、文化財に指定したら、朝令暮改でない限り、10年なり20年なりのスパンを持って見ていくのがよいのではないか。道祖神祭りの例だが、祭りを担う子供が少ないなら、元子供が率先してやっていたら面白く思った子供達が存続してくれることも考えられる。

委員：風化の進む梵字庚申塔のことになるが、松本市の博物館ではレプリカを作って残していると聞く。特に明科地区には道祖神などの石造物もあるので、砂にかえて劣化してしまう前に調査し、費用はかかっても何らかの手立てを考えていかないといけない。

事務局：昨年、上長尾の道祖神祭りを見てきた。子供が減少し厳しい状況におかれたこともあるが、県指定の無形民俗文化財ということで、地元民の中に継承していこうという意識が生まれ、存続できている。文化財であるということが有効に機能した例であると思う。今回、「おふね祭りを中心に無形民俗文化財の調査をして、特に明科関係の御船祭りの指定は増えた。

風神祭りについては、市内2箇所だけということで存続の危機にあるのなら、地元の方達の意向を聞きながら手立てを考えていきたい。それから、石田会長から石造物の保存についての話も出たが、風雨にさらされるとどうなっていくかも調査する必要があり、道祖神の像の分類をしておいた方がよいという指摘もいただいている。レプリカが取れるとよいのだが、時間・費用面のこともあり、大きな課題・宿題として考えていきたいと思う。

◎その他

事務局：刊行物の紹介

8 閉会

交流学習センター(施設)事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
穂高交流学習センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「佐藤嘉市と大正期の常念岳登山」巡回展 ・会期: 4月27日～8月28日 ・会場: 堀金複合施設 2階交流ラウンジ ○市民「マイ・コレクション」展 (Part1) ・会期: 4月26日～6月19日 ・会場: 穂高交流学習センター「みらい」交流ギャラリー 	<ul style="list-style-type: none"> ○第7回能面と能装束展 ・会期: 6月27日～8月19日 ・会場: 穂高交流学習センター「みらい」交流ギャラリー
豊科交流学習センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「世界まるごとhow to国際人」ジェフ・パークランド講演会 ・期日: 5月29日 (日) ・会場: 豊科交流学習センター多目的交流ホール ・講師: ジェフ・パークランド氏 	
交流学習センター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○交流学習センター運営委員会 (第1回) ・期日: 5月18日 (水) ・内容: 先進地 (東京都千代田区立千代田図書館、東京都中野区立中央図書館) 視察 ※図書館協議会との合同開催 	

図書館事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> ○新堀金図書館開館記念講演会 ・期日: 5月8日 (日) 午後1時30分～ ・会場: 堀金複合施設 3階 堀金公民館会議室1 ・講師: 亀井 智泉 ・演題: 「子どもと一緒に絵本で育つ」 ・入場者数: 45人 ○図書館協議会 (第1回) ・期日: 5月18日 (水) ・内容: 先進地 (東京都千代田区立千代田図書館、東京都中野区立中央図書館) 視察 ※交流学習センター運営委員会との合同開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央図書館講演会 ・期日: 7月3日 (日) 午後1時30分～3時 ・会場: 穂高交流学習センター みらい多目的交流ホール ・講師: 国際山岳プロガイド 角谷 道弘 氏 ・演題: “世界の山を登って” 「登山の魅力と危険と安全について」 ・申込期間: 5月25日 (水) ～6月22日 (水) ・定員: 200人 (入場無料)